

平成28年12月の鉱工業活動
図表集

平成29年2月14日

経済解析室

URL : <http://www.meti.go.jp/statistics/tyo/iip/result-1.html>

平成28年12月の鉱工業指数(確報)各指数の状況

生産・出荷・在庫・在庫率指数

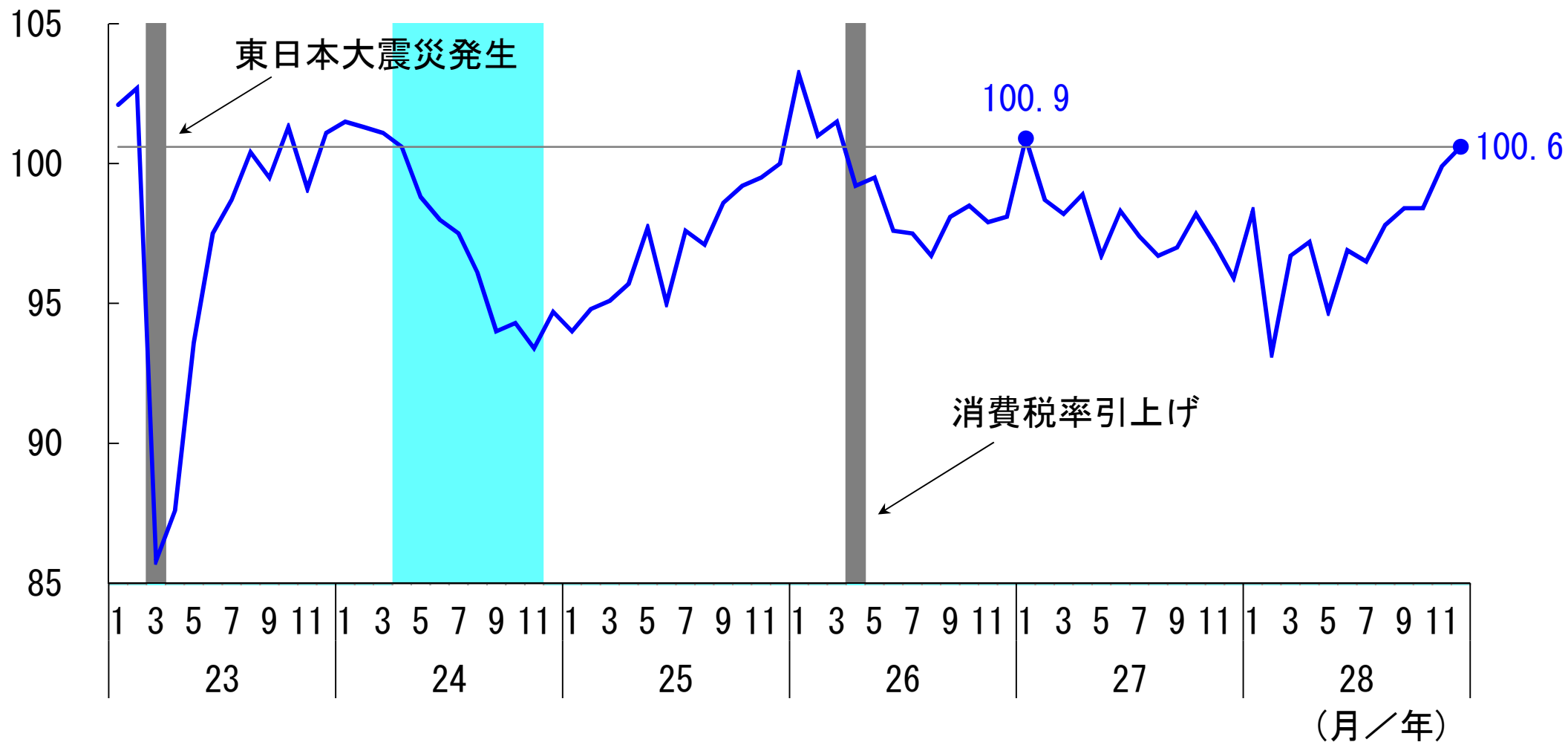
月次	生産	出荷	在庫	在庫率
季調済指数	100.6	98.9	107.5	109.5
前月比	0.7%	-0.4%	0.6%	1.6%
指数水準	H27. 1 100. 9以来 I H20. 2 117. 3 II H20. 1 117. 0 III H20. 3 116. 2	H28. 10 98. 3以来 ①H21. 2 79. 2 ②H21. 3 79. 7 ③H21. 4 80. 7	H28. 10 108. 6以来 I H20. 12 119. 8 II H21. 1 119. 5 III H20. 11 119. 1	H28. 10 114. 2以来 I H21. 2 155. 6 II H21. 1 150. 2 III H21. 3 146. 3
前月比の動き	2か月連続+ (H28.11~当月)	4か月ぶり- (H28.8以来)	4か月ぶり+ (H28.8以来)	3か月ぶり+ (H28.9以来)
前月比幅	H28. 11 1. 5%以来 I H23. 5 6. 8% II H21. 4 4. 4% III H23. 6 4. 2%	H28. 8 -1. 1%以来 ①H23. 3 -15. 7% ②H21. 1 -9. 5% ③H20. 12 -7. 1%	H28. 3 2. 9%以来 I H23. 5 4. 7% II H28. 3 2. 9% III H24. 3 2. 5%	H28. 5 1. 8%以来 I H20. 11 13. 2% II H20. 12 9. 9% III H21. 1 9. 8%
前年同月比(原指数)	3.2%	2.3%	-4.6%	-5.8%
前年同月比の動き	2か月連続+ (H28.11~当月)	2か月連続+ (H28.11~当月)	6か月連続- (H28.7~当月)	2か月連続- (H28.11~当月)
前年同月比幅	H28. 11 4. 6%以来 I H22. 3 29. 2% II H22. 2 28. 8% III H22. 4 23. 8%	H28. 11 5. 1%以来 I H22. 3 28. 4% II H22. 2 27. 0% III H22. 4 25. 4%	H28. 11 -4. 8%以来 ①H21. 12 -17. 6% ②H22. 1 -16. 8% ③H21. 11 -16. 4%	H28. 11 -6. 7%以来 ①H22. 2 -34. 0% ②H22. 3 -33. 8% ③H22. 1 -32. 1%

(注) I～Ⅲは22年基準における最大値から上位3位まで、①～③は最小値から下位3位までの数値

鉱工業生産指数の動向

- 平成28年12月の鉱工業生産指数は100.6(前月比0.7%)と2か月連続の上昇。
- 平成27年1月の100.9以来の指数水準。

(22年=100、季節調整済)



(注)1. 鉱工業指数(IIP)とは、月々の鉱工業の生産、出荷、在庫等を基準年(現在は平成22年)の12か月平均=100として指数化したもので、事業所の生産活動、製品の需給動向など鉱工業全体の動きを示す代表的な指標。
2. 水色のシャドー部分は景気後退局面。

平成28年12月の鉱工業生産指数を大きく動かした品目（業種別）

		業種・品目名	前月比	寄与率
鉱工業生産を上昇方向へ引っ張った3業種の中で上昇への影響度が大きい2品目	1位の業種	輸送機械工業	2.4%	68.3%
	品目	自動車部品	2.4%	24.2%
		乗用車	2.0%	22.9%
	2位の業種	化学工業	1.9%	34.7%
	品目	石けん・合成洗剤・界面活性剤	9.1%	13.7%
		石油系芳香族	6.0%	6.1%
3位の業種	電気機械工業	2.1%	21.0%	
品目	民生用電気機械	7.1%	13.3%	
	開閉制御装置・機器	4.0%	8.4%	
鉱工業生産を低下方向へ引っ張った3業種の中で低下への影響度が大きい2品目	1位の業種	情報通信機械工業	-10.7%	-39.5%
	品目	電子計算機	-10.0%	-15.7%
		通信機械	-16.5%	-14.7%
	2位の業種	食料品・たばこ工業	-1.6%	-14.0%
	品目	酒類	-1.7%	-3.6%
		油脂・調味料	-3.2%	-2.5%
3位の業種	はん用・生産用・業務用機械工業	-0.2%	-3.6%	
品目	ボイラ・原動機	-14.7%	-22.7%	
	金属工作機械	-9.6%	-15.8%	

寄与率：生産全体の変動に対して影響を及ぼした、各品目の影響の度合い。全93業種の寄与率を足すと、当月が上昇なら100%、低下なら-100%になる。

平成28年12月の鉱工業生産指数を大きく動かした品目（全体・財別）

<全体>

		品目名	前月比	寄与率
鉱工業生産を 上昇 方向 に引っ張った3品目	1位	運搬機械	99.3%	57.2%
	2位	自動車部品	2.4%	24.2%
	3位	電子部品	4.0%	23.5%
鉱工業生産を 低下 方向 に引っ張った3品目	1位	ボイラ・原動機	-14.7%	-22.7%
	2位	金属工作機械	-9.6%	-15.8%
	3位	電子計算機	-10.0%	-15.7%

<財別＝用途別>

	解説	品目名	前月比	寄与率
生産財	原材料として投入される製品	生産財	1.3%	93.8%
		航空機用発動部品	16.5%	13.3%
		ファインセラミックス（機能材）	11.7%	10.2%
耐久消費財	テレビや電気冷蔵庫など 家計で購入される製品	耐久消費財	0.8%	12.0%
		軽乗用車	0.8%	12.0%
		セパレート形エアコン	16.9%	15.1%
非耐久消費財	食料品や衣料品など 家計で購入される製品	非耐久消費財	0.6%	11.5%
		合成洗剤	10.9%	10.2%
		美容液	12.2%	9.4%
建設財	鉄骨やセメントなど 建設投資に向けられる製品	建設財	0.4%	3.2%
		橋りょう	4.9%	2.1%
		ビル用アルミニウムサッシ	3.6%	1.3%
資本財 （除. 輸送機械）	クレーンや金属工作機械など 設備投資に向けられる製品	資本財（除. 輸送機械）	-1.5%	-33.8%
		一般用蒸気タービン	-67.3%	-25.6%
		分析機器	-13.3%	-10.9%

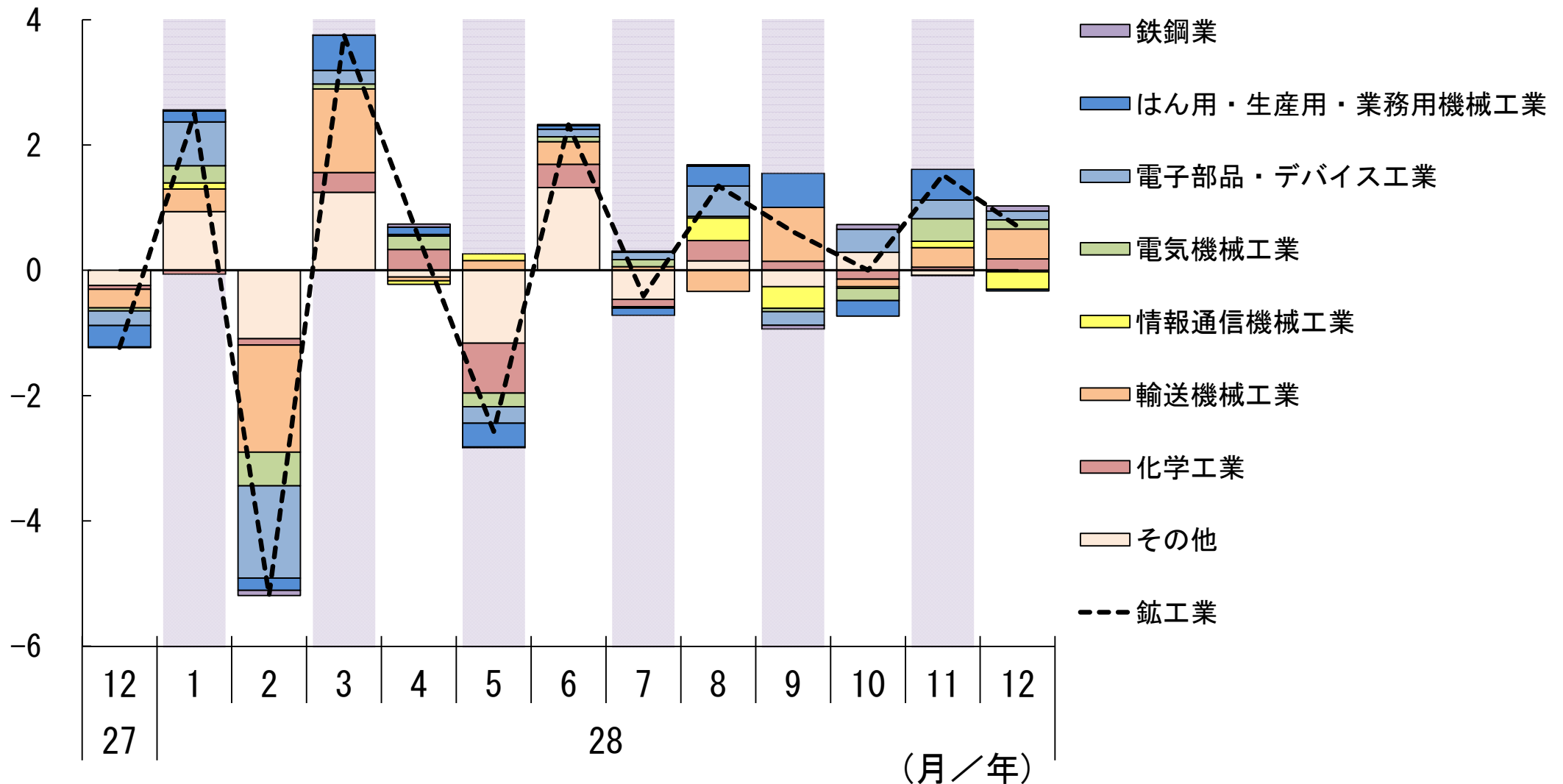
寄与率：生産全体の変動に対して影響を及ぼした、各品目の影響の度合い。全93業種の寄与率を足すと、当月が上昇なら100%、低下なら-100%になる。

（注）全体の各品目は、個別品目ではなく、個別品目を統合した分類によるもの。

鋳工業生産指数前月比 業種別の影響度合い

- 平成28年12月の生産指数は情報通信機械工業などが低下したものの、輸送機械工業などが上昇したため、前月比0.7%の上昇。

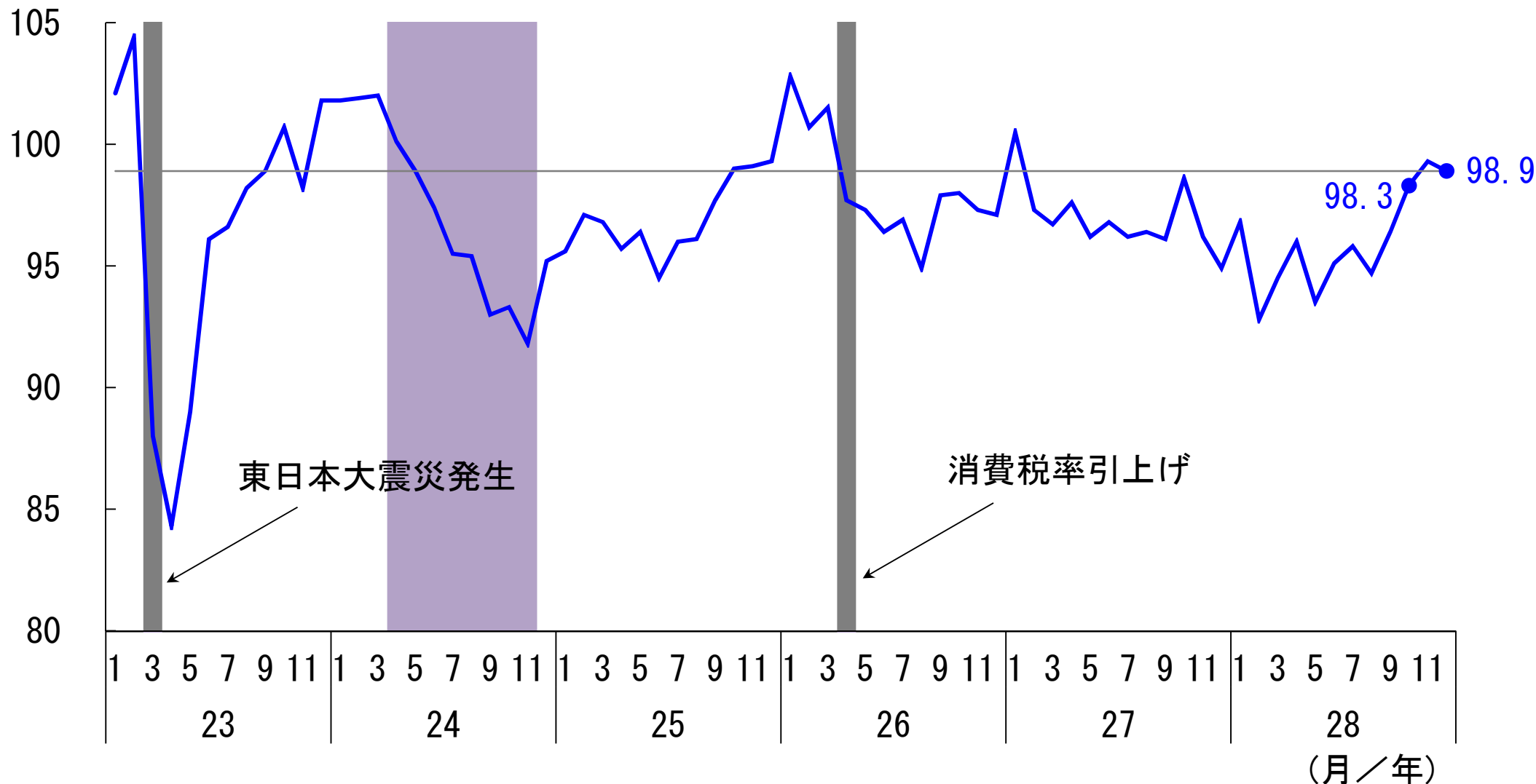
(季節調整済、前月比、%、%ポイント)



鋳工業出荷指数の動向

- 平成28年12月の鋳工業出荷指数は98.9(前月比-0.4%)と4か月ぶりの低下。
- 平成28年10月の98.3以来の指数水準。

(22年=100、季節調整済)



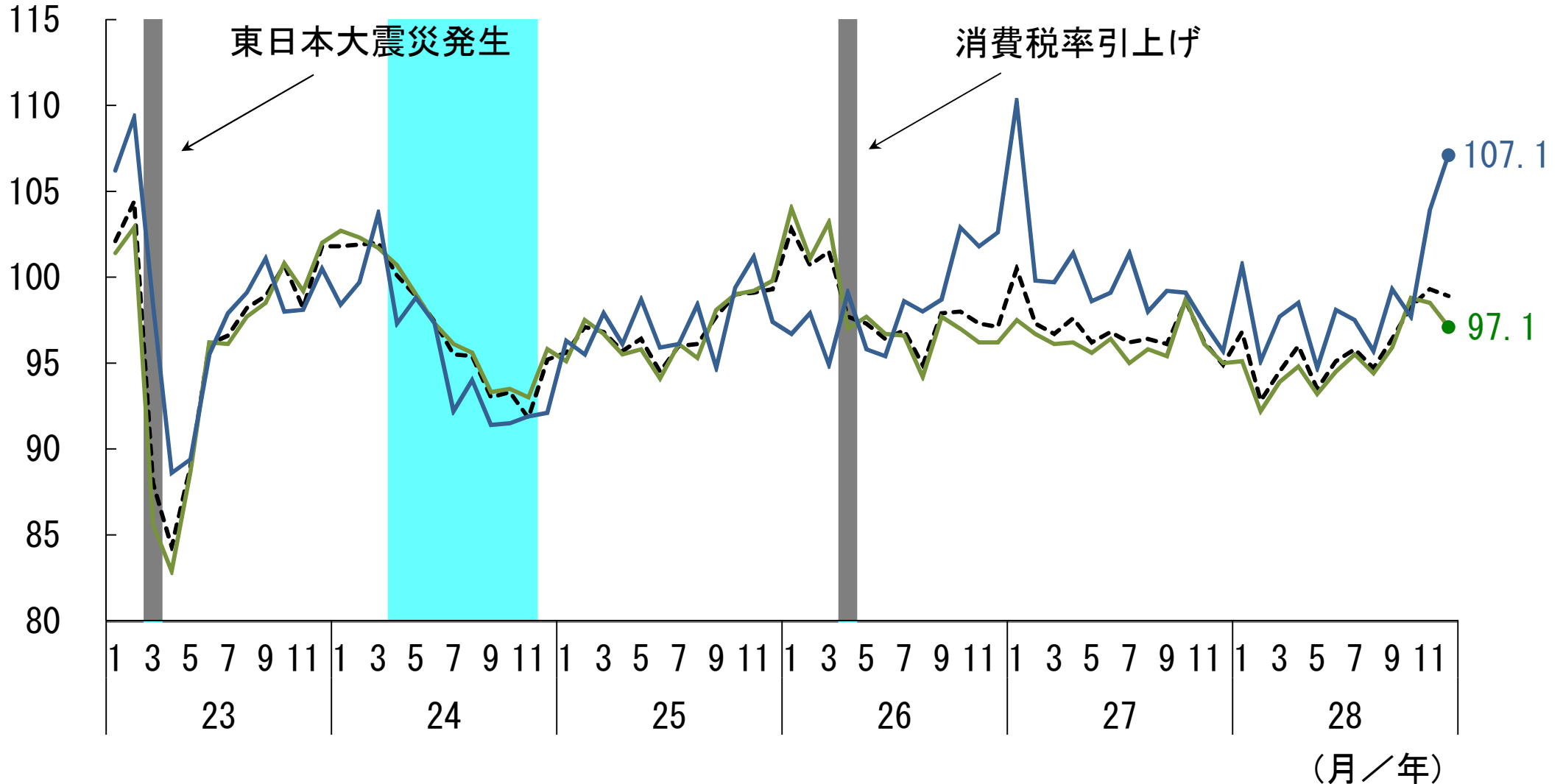
(注) 紫色のシャド一部分は景気後退局面。

国内向け／輸出向け出荷の動向

平成28年12月の鋳工業出荷を国内向け／輸出向け別にみると、国内向けは97.1(前月比-1.4%)と2か月連続の低下、輸出向けは107.1(前月比3.1%)と2か月連続の上昇。

(22年=100、季節調整済)

--- 鋳工業出荷 — 国内向け — 輸出向け

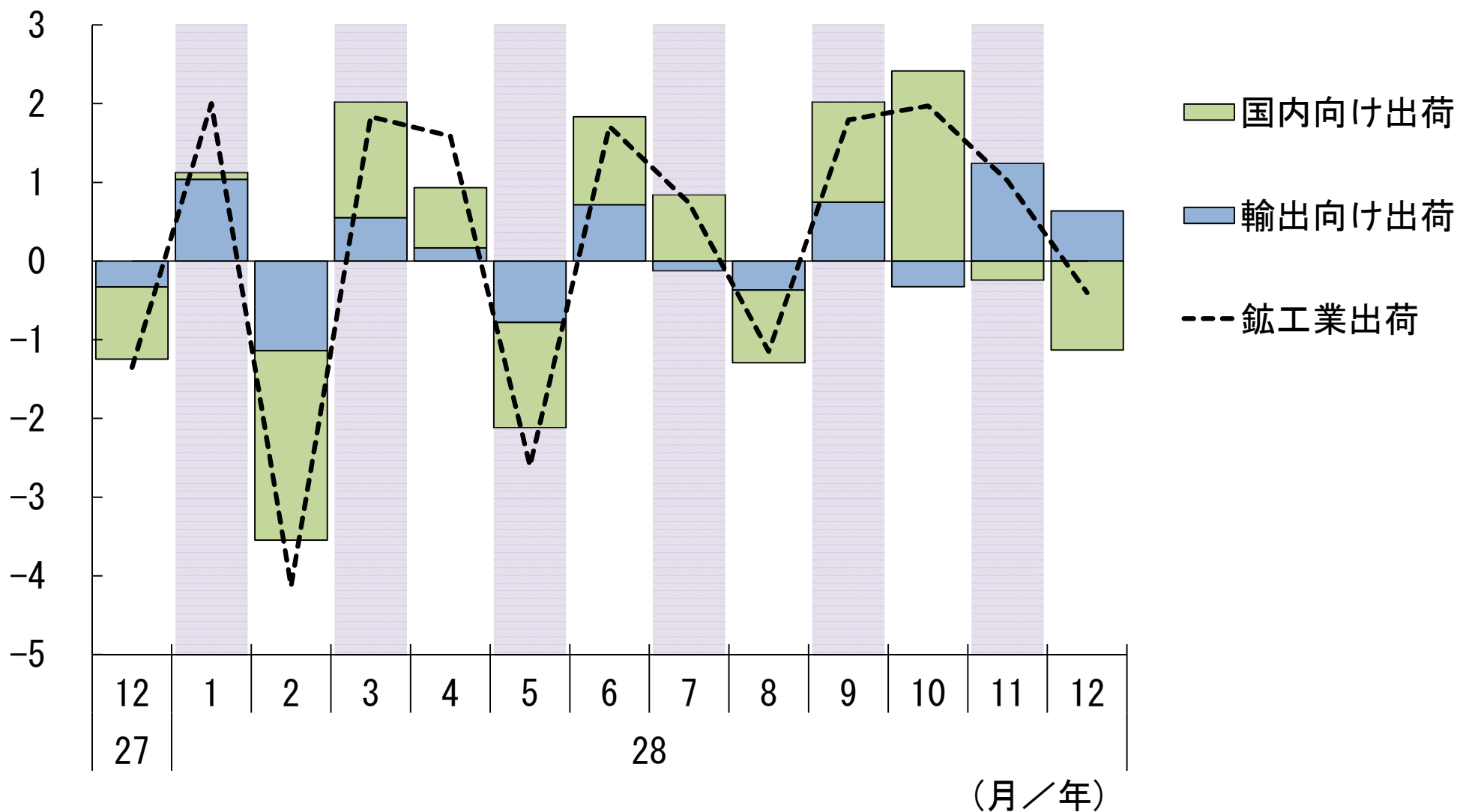


(注) 水色のシャド一部分は景気後退局面。

鋳工業出荷前月比 国内向け／輸出向け別の影響度合い

- 平成28年12月の鋳工業出荷は輸出向けは上昇したものの、国内向けは低下したため、前月比-0.4%の低下。

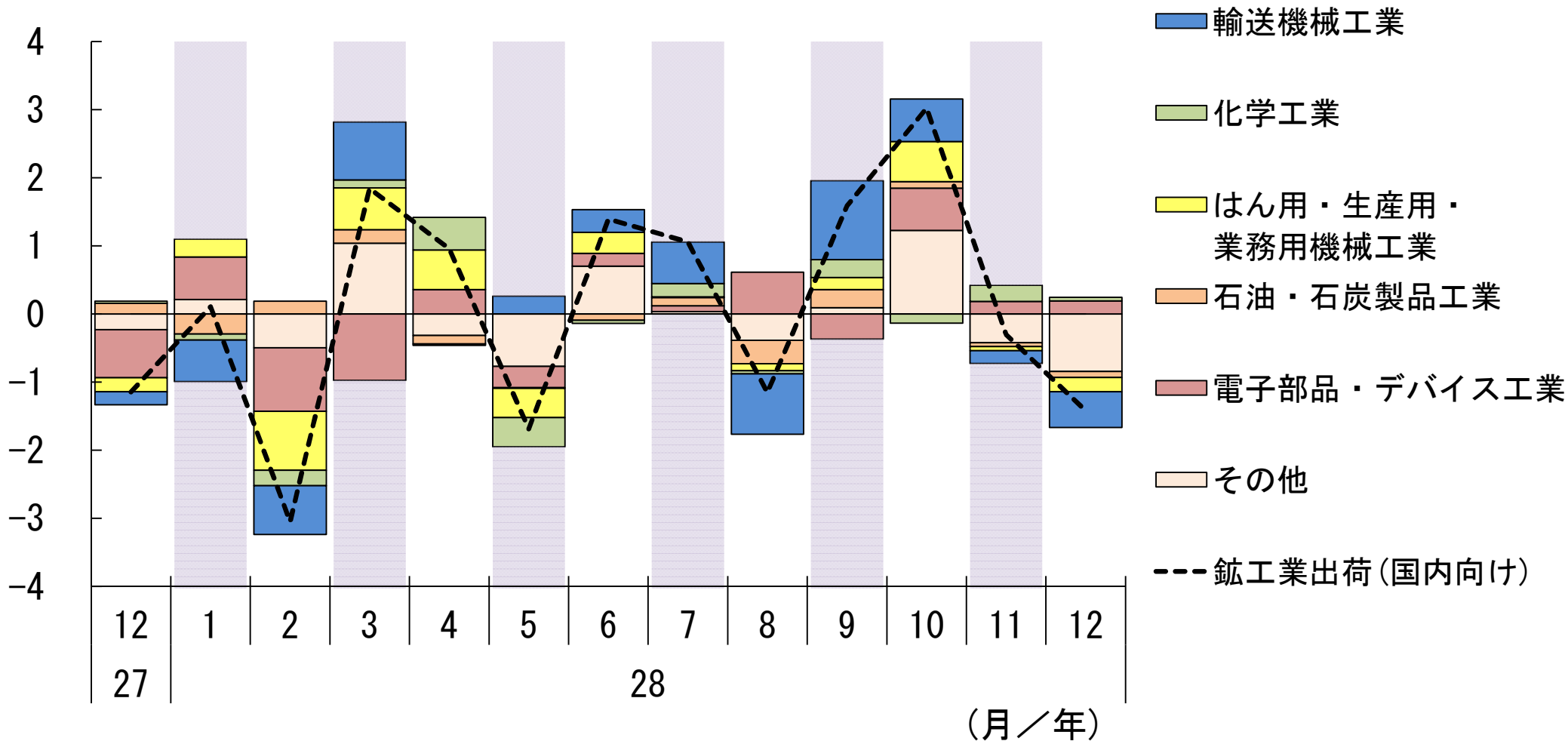
(季節調整済、前月比、%、%ポイント)



国内向け出荷前月比 業種別の影響度合い

- 平成28年12月の国内向け出荷を、主要業種別にみると、電子部品・デバイス工業などが上昇したものの、輸送機械工業などが低下。

(季節調整済、前月比、%、%ポイント)

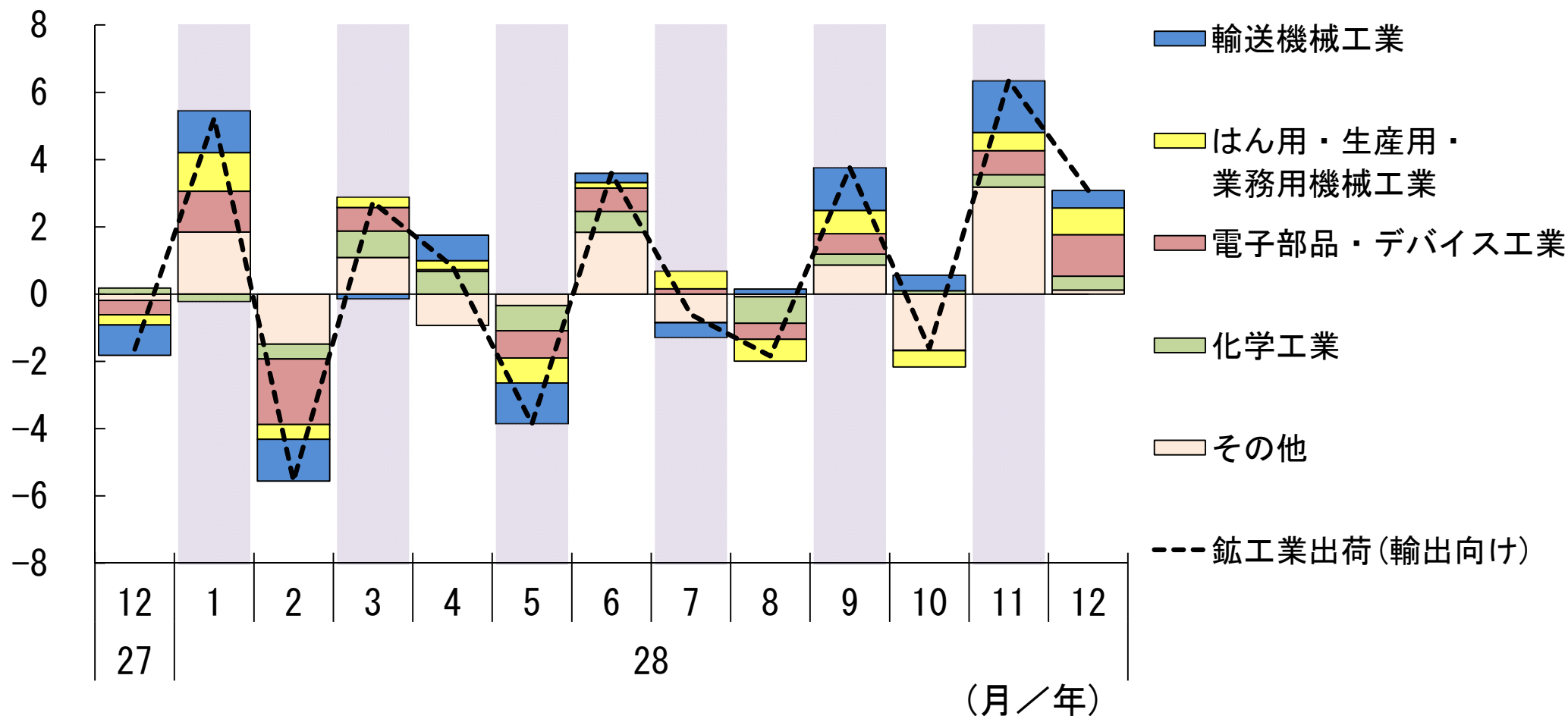


(注)主要業種とは、国内向け出荷(ウエイト8028.51)のうち、ウエイトが大きい5業種を選定。
 具体的には、輸送機械工業(国内向け、ウエイト1658.38)、化学工業(同、同860.84)、はん用・生産用・業務用機械工業(同、同796.12)、石油・石炭製品工業(同、同574.89)、電子部品・デバイス工業(同、同457.59)。

輸出向け出荷前月比 業種別の影響度合い

- 平成28年12月の輸出向け出荷を、主要業種別にみると、電子部品・デバイス工業などが上昇。

(季節調整済、前月比、%、%ポイント)



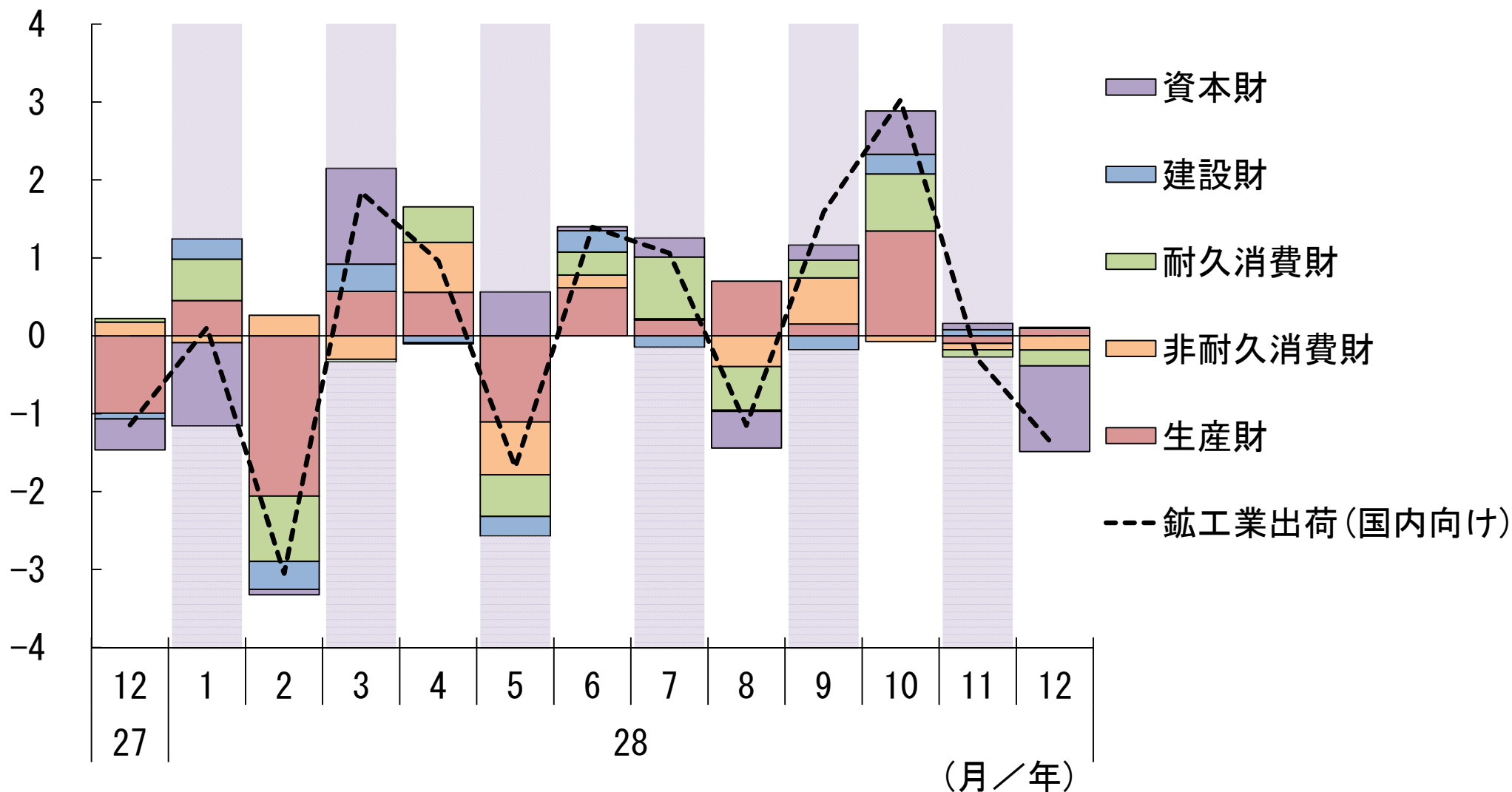
(注)主要業種とは、輸出向け出荷(ウエイト1971.49)のうち、ウエイトが大きい業種(上位4業種)を選定。

具体的には、輸送機械工業(輸出向け、ウエイト560.52)、はん用・生産用・業務用機械工業(同、同289.48)電子部品・デバイス工業(同、同253.51)、化学工業(同、同180.06)の4業種。

国内向け出荷前月比 財別の影響度合い

- 平成28年12月の国内向け出荷を、財別にみると、生産財などが上昇したものの、資本財などが低下。

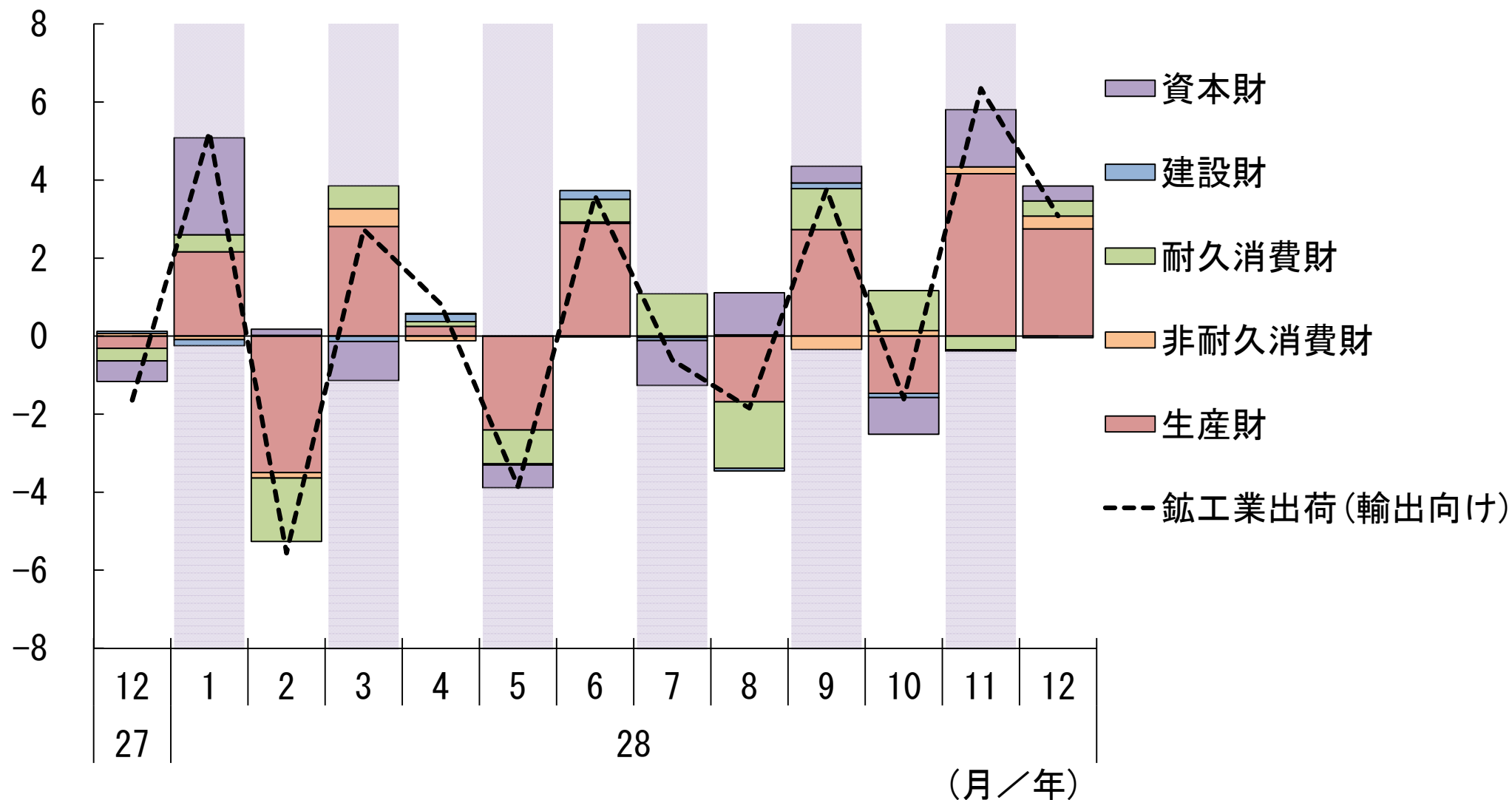
(季節調整済、前月比、%、%ポイント)



輸出向け出荷前月比 財別の影響度合い

- 平成28年12月の輸出向け出荷を、財別にみると、建設財が低下したものの、生産財などが上昇。

(季節調整済、前月比、%、%ポイント)



平成28年12月の国内向け出荷前月比 財別・業種別の影響度合い

財別分類	前月比(%)	寄与率(%)
鉱工業	-1.4	-281.0
資本財	-5.9	-217.6
輸送機械工業	-14.3	-139.9
はん用・生産用・業務用機械工業	-3.7	-71.7
耐久消費財	-1.5	-39.9
電気機械工業	-7.9	-18.6
情報通信機械工業	-6.0	-16.2
非耐久消費財	-1.3	-36.4
食料品・たばこ工業	-3.0	-35.1
化学工業	-2.1	-18.5
その他用生産財	-2.7	-29.0
石油・石炭製品工業	-4.2	-26.6
化学工業	-117.3	-12.8
建設財	0.2	2.5
プラスチック製品工業	11.1	6.2
窯業・土石製品工業	1.8	3.4
鉱工業用生産財	0.5	42.3
電子部品・デバイス工業	2.6	36.2
化学工業	2.4	26.1

寄与率：出荷全体の変動に対して影響を及ぼした、財別・業種別の影響の度合い。全ての寄与率を足すと、当月が上昇なら100%、低下なら-100%になる。

(注)試算値。

平成28年12月の輸出向け出荷前月比 財別・業種別の影響度合い

財別分類	前月比(%)	寄与率(%)
鉱工業	3.1	157.7
鉱工業用生産財	3.7	112.5
電子部品・デバイス工業	10.5	62.2
輸送機械工業	7.9	46.9
その他用生産財	20.3	32.8
石油・石炭製品工業	31.5	25.0
化学工業	45.4	7.5
耐久消費財	3.0	19.9
輸送機械工業	3.9	22.1
情報通信機械工業	2.5	1.1
資本財	2.0	19.6
はん用・生産用・業務用機械工業	7.5	38.3
電気機械工業	8.4	10.0
非耐久消費財	10.2	16.8
石油・石炭製品工業	83.2	8.3
化学工業	7.3	6.3
建設財	-2.2	-2.1
プラスチック製品工業	-15.6	-4.9
窯業・土石製品工業	-0.8	-0.1

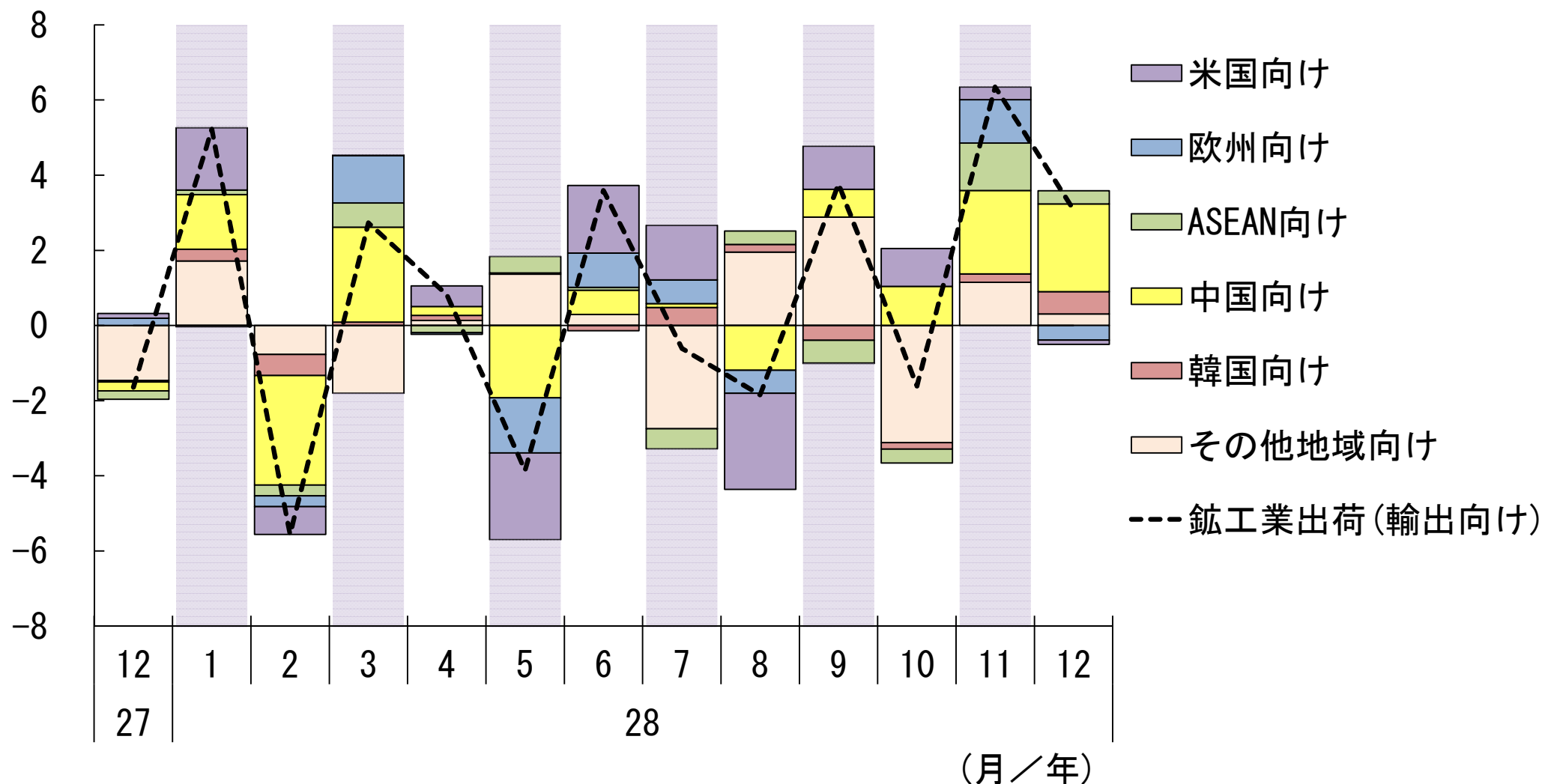
寄与率：出荷全体の変動に対して影響を及ぼした、財別・業種別の影響の度合い。全ての寄与率を足すと、当月が上昇なら100%、低下なら-100%になる。

(注)試算値。

輸出向け出荷前月比 地域別の影響度合い

- 平成28年12月の輸出向け出荷を、地域別にみると、欧州向けなどが低下したものの、中国向けなどが上昇。

(季節調整済、前月比、%、%ポイント)

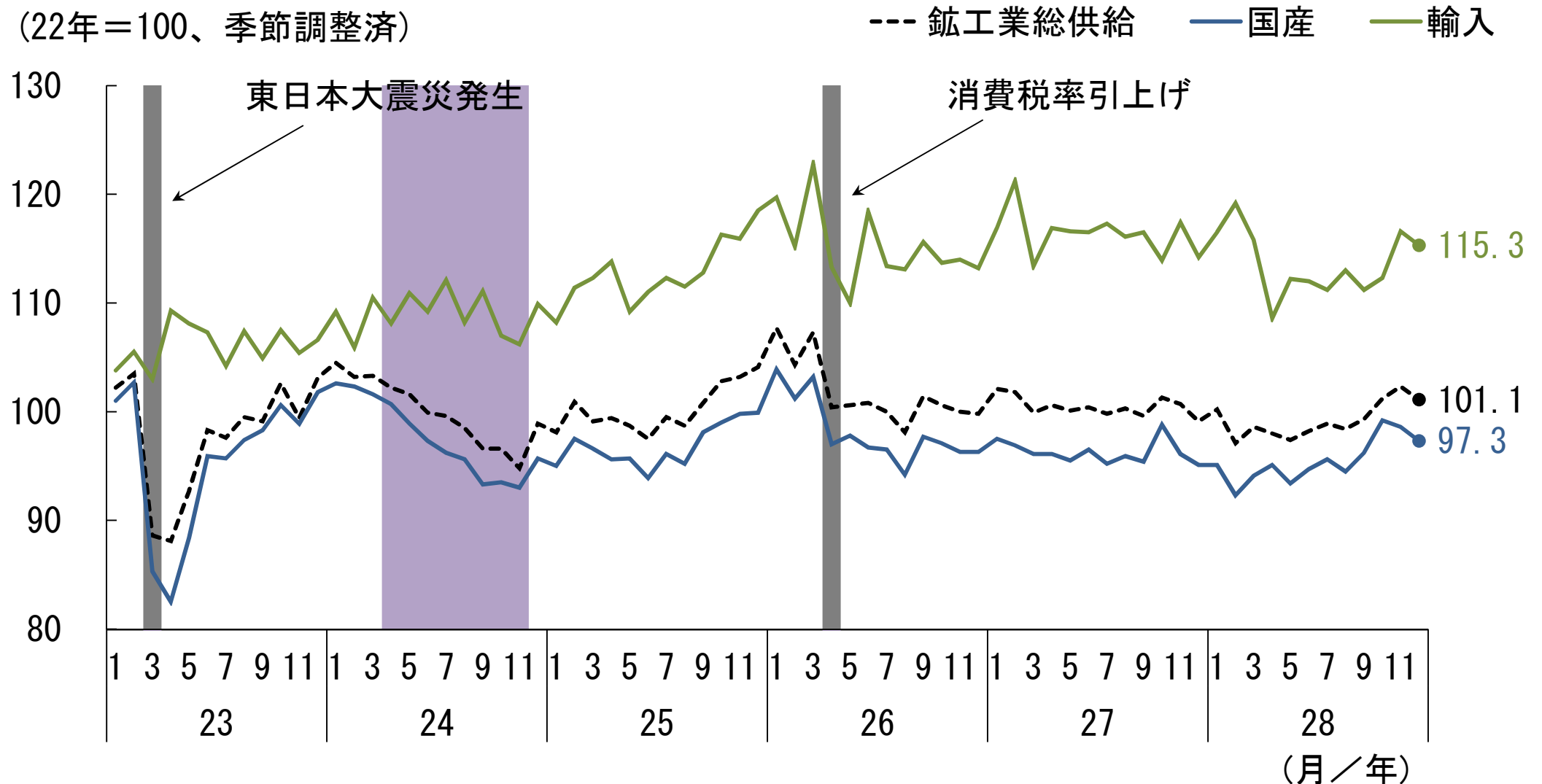


(注) 試算値。

鉍工業総供給指数の動向

- ・平成28年12月の鉍工業総供給指数は101.1(前月比-1.2%)と4か月ぶりの低下。
- ・内訳をみると、国産は97.3(前月比-1.3%)と2か月連続の低下、輸入は115.3(前月比-1.1%)と3か月ぶりの低下。

(22年=100、季節調整済)

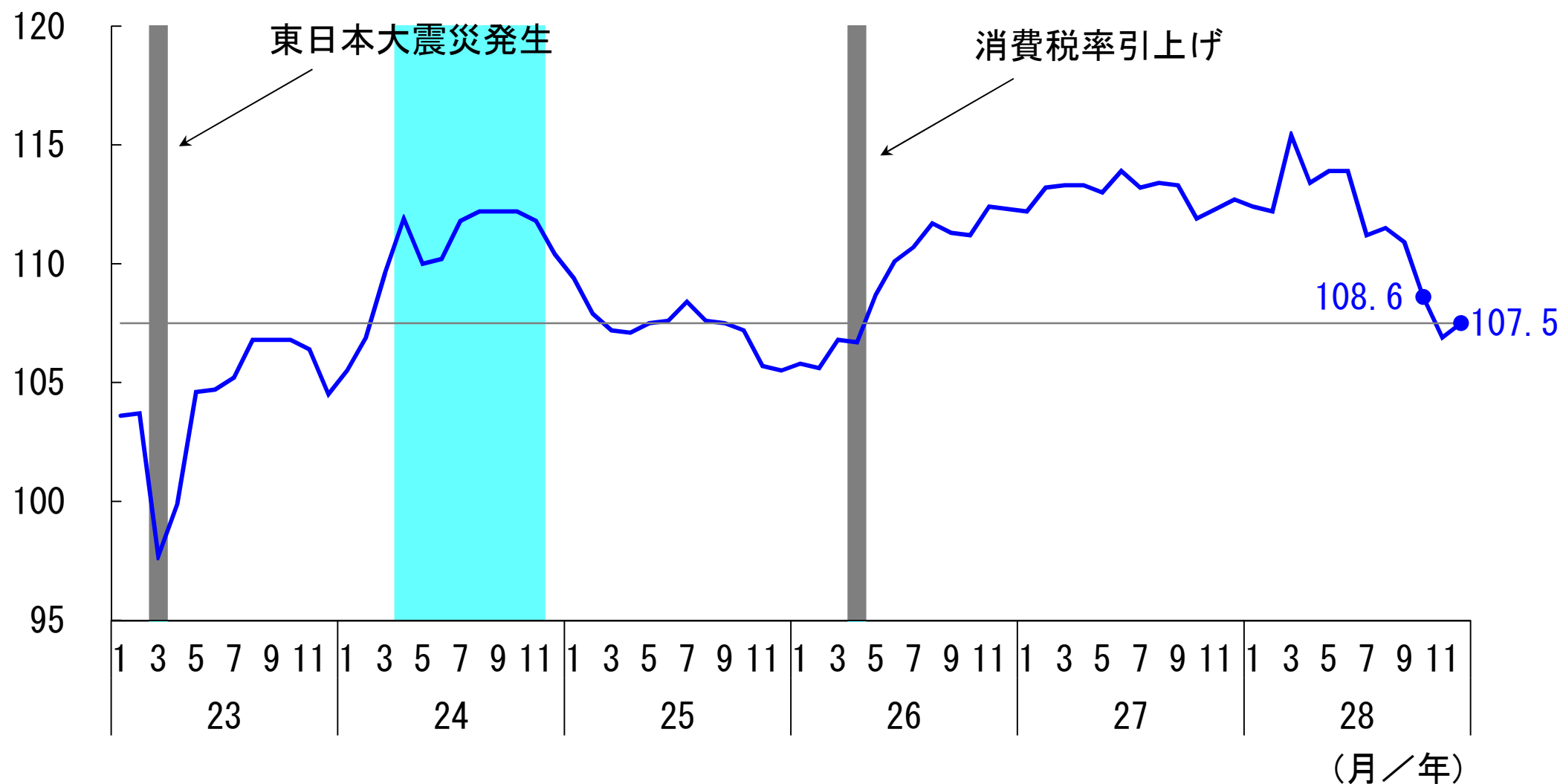


(注) 紫色のシャド一部分は景気後退局面。

鉱工業在庫指数の動向

- ・平成28年12月の在庫指数は107.5(前月比0.6%)と4か月ぶりの上昇。
- ・平成28年10月の108.6以来の指数水準。

(22年=100、季節調整済)

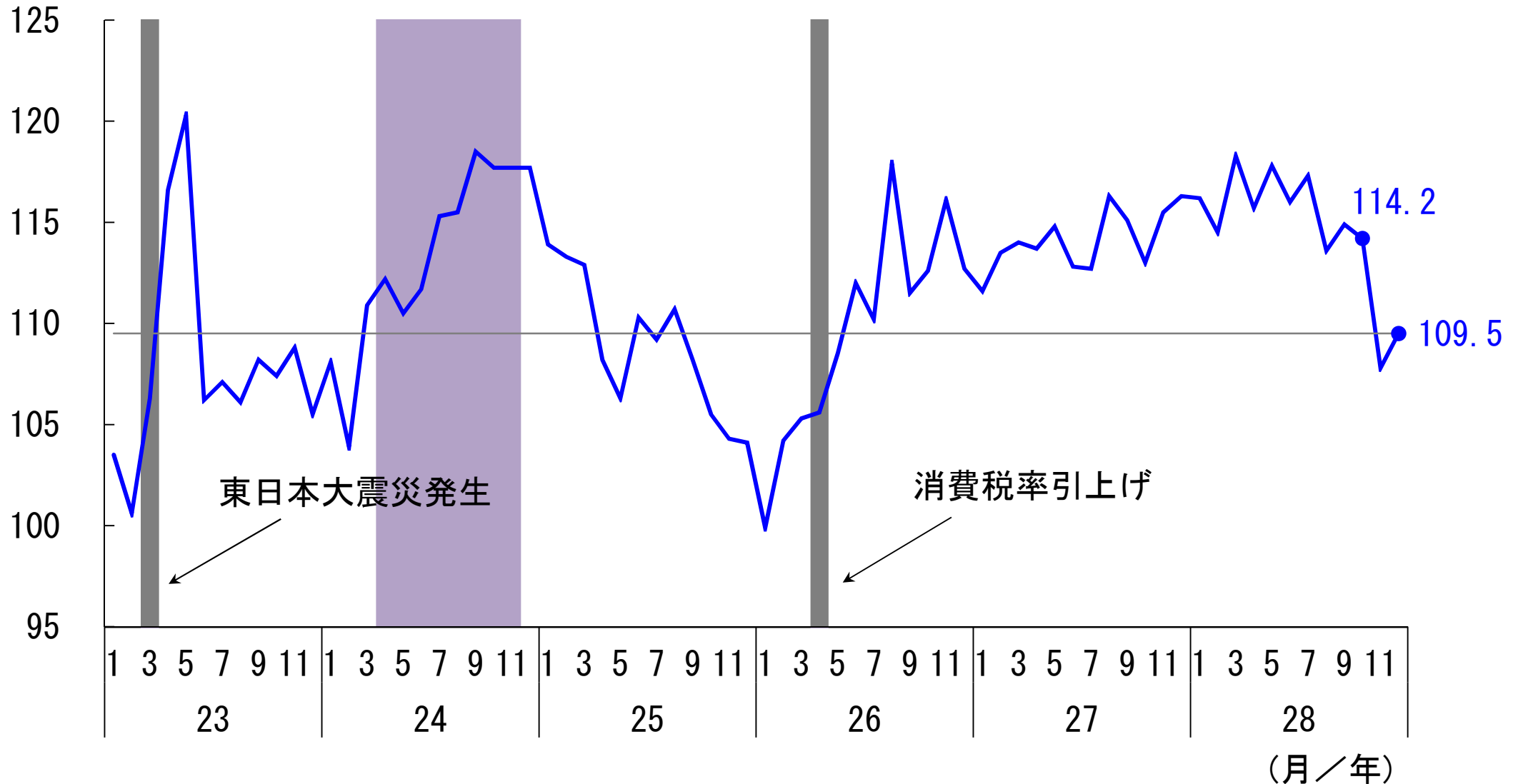


(注)水色のシャド一部分は景気後退局面。

鋁工業在庫率指数の動向

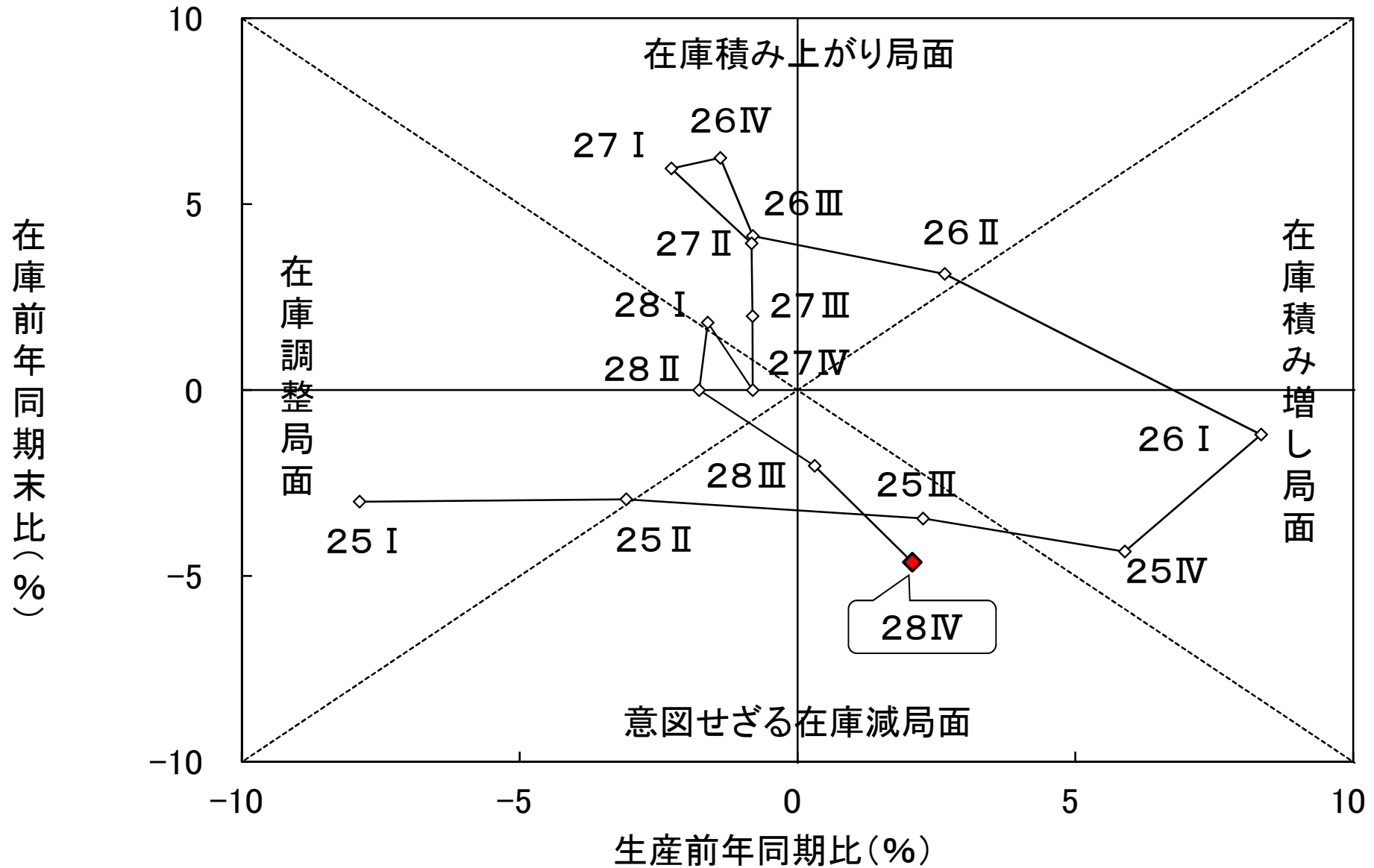
- ・平成28年12月の在庫率指数は109.5(前月比1.6%)と3か月ぶりの上昇。
- ・平成28年10月の114.2以来の指数水準。

(22年=100、季節調整済)



(注) 紫色のシャド一部分は景気後退局面。

鋁工業の在庫循環図



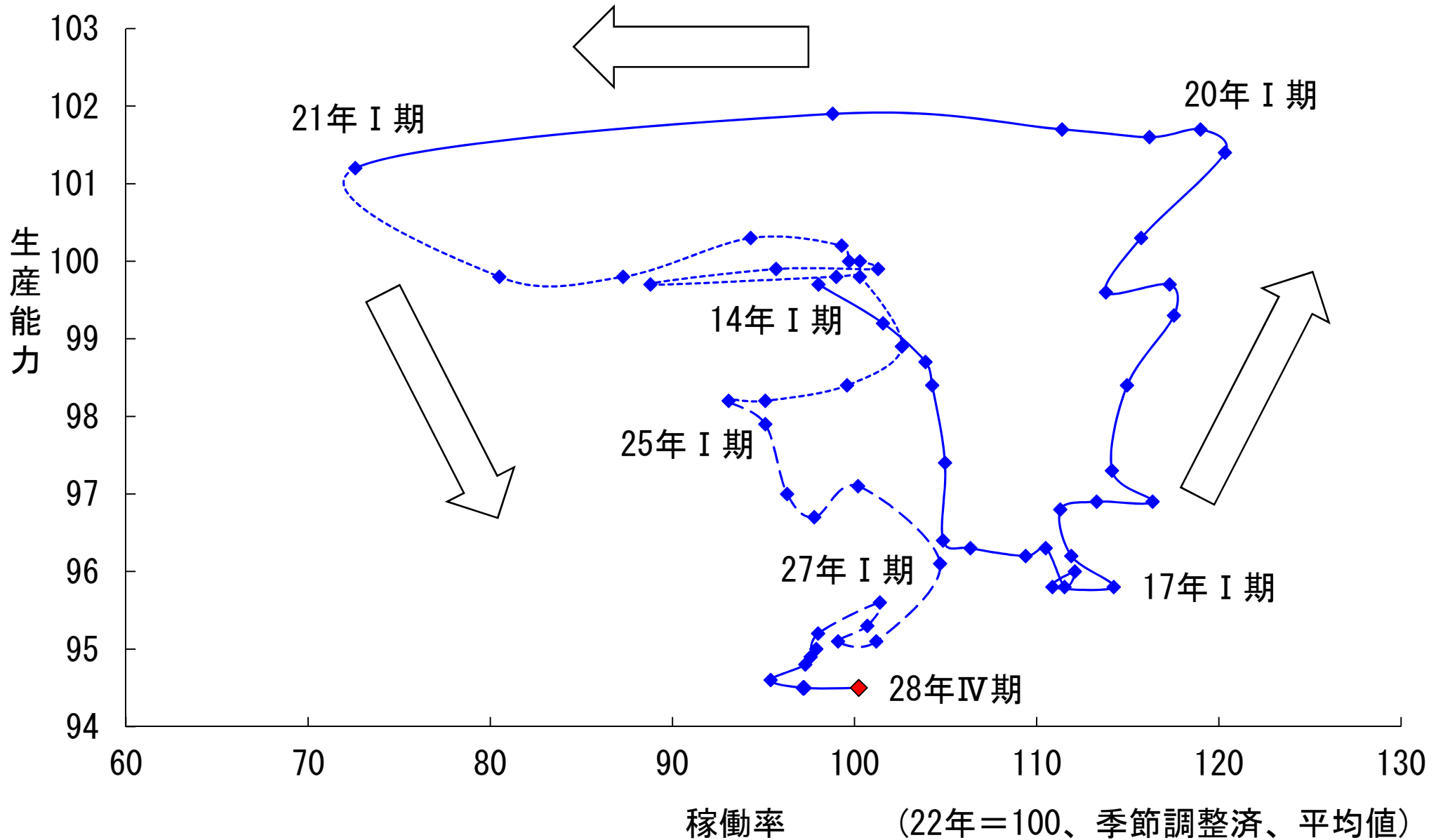
平成28年12月の製造工業稼働率・生産能力指数の状況

月次	稼働率		能力			
	機械工業	非機械工業	機械工業	非機械工業		
季調済指数	101.6	101.6	94.5 (原指数)	95.9 (原指数)	92.5 (原指数)	
前月比	0.6%	0.2%	0.0%	0.1%	0.0%	
指数水準	H27.1 103.9以来 I H20.2 119.4 II H20.1 118.8 III H20.3 118.7	H27.2 101.7以来 I H20.2 125.7 II H20.3 124.6 III H20.1 124.4	H26.1 101.6以来 I H20.1 110.8 II H20.2 110.7 III H20.3 110.4	—	H28.10 95.9以来 (超)H27.11 96.0以来 I H20.11 101.6 II H20.12 101.5 III H23.10 101.4	—
前月比の動き	3か月連続+ (H28.10～当月)	3か月連続+ (H28.10～当月)	3か月連続+ (H28.10～当月)	—	2か月ぶり+ (H28.10以来)	—
前月比幅	H28.11 3.0%以来 I H23.5 14.4% II H21.4 9.8% III H23.6 6.5%	H28.11 3.9%以来 I H23.5 24.0% II H23.6 10.2% III H21.4 9.9%	H28.11 1.6%以来 I H21.4 8.2% II H23.5 4.1% III H21.5 3.2%	—	H28.10 0.2%以来 I H21.10 1.1% II H25.10 0.8% III H20.11, H23.10 0.6%	—
前年同月比(原指数)	2.9%	2.9%	2.9%	—0.5%	0.0%	—1.3%
前年同月比の動き	2か月連続+ (H28.11～当月)	2か月連続+ (H28.11～当月)	2か月連続+ (H28.11～当月)	17か月連続— (H27.8～当月)	—	99か月連続— (H20.10～当月)
前年同月比幅	H28.11 4.4%以来 I H22.3 43.3% II H22.2 42.8% III H22.4 29.3%	H28.11 5.9%以来 I H22.2 54.0% II H22.3 53.6% III H24.4 48.8%	H26.2 4.9%以来 I H22.3 29.2% II H22.2 28.7% III H22.1 20.1%	H28.11 —0.6%以来 ①H21.7, 8, H26.11 —2.1% ②H26.1, 2, 4, 6, 10 —2.0% ③H21.9, H26.12 —1.9%	—	H28.11 —1.3%以来 (超)H28.5 —1.5%以来 ①H22.12, H23.1 —2.1% ②H22.9, 11, H23.2, 5, 6, H26.4 —2.0%

(注) I～Ⅲは22年基準における最大値から3位まで、①～③は最小値から3位までの数値

稼働率と生産能力の循環図(製造工業)

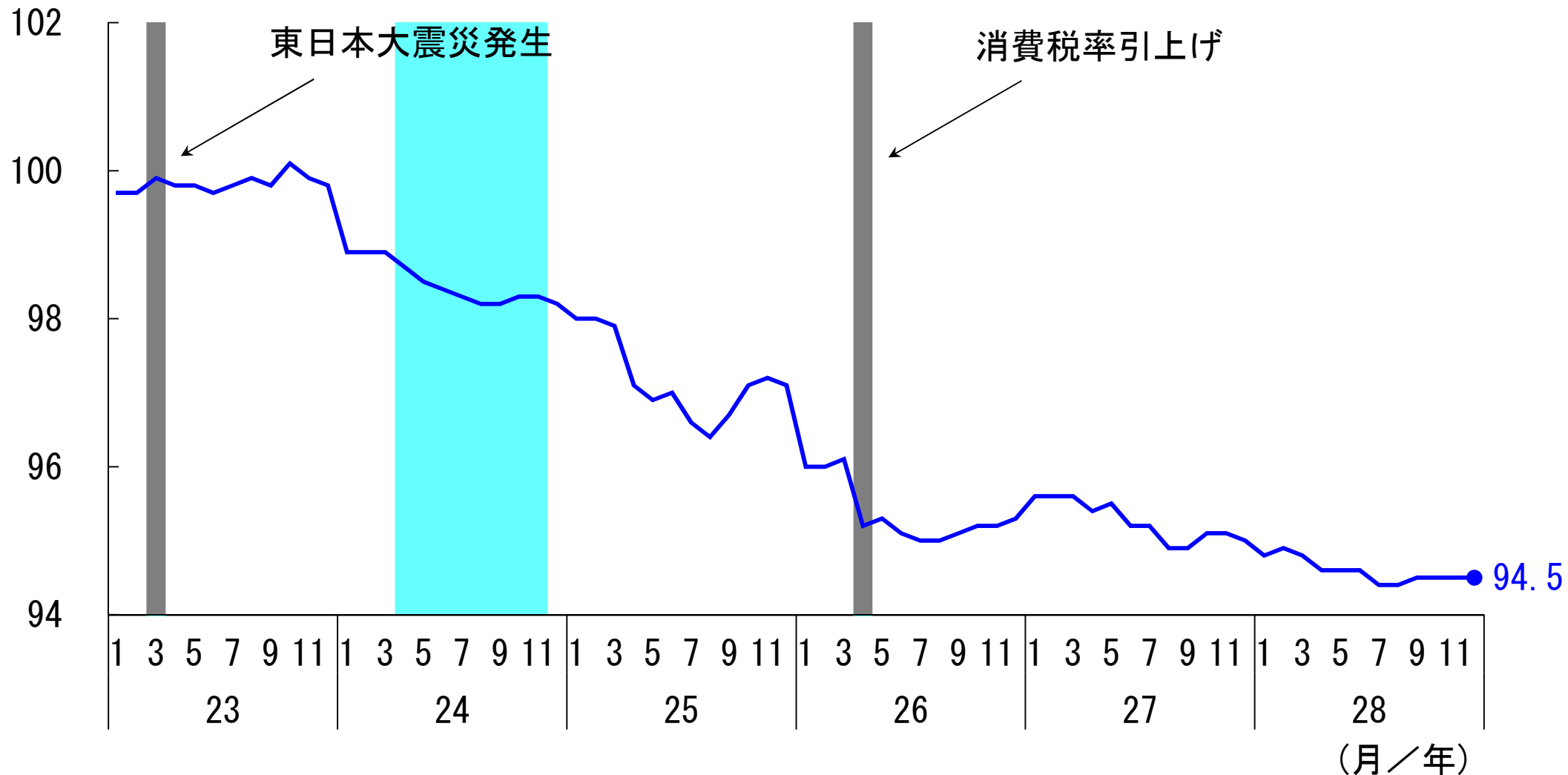
(22年=100、原指数、期末値)



製造工業生産能力指数の動向

・平成28年12月の製造工業生産能力指数は94.5(前月比0.0%)と横ばい。

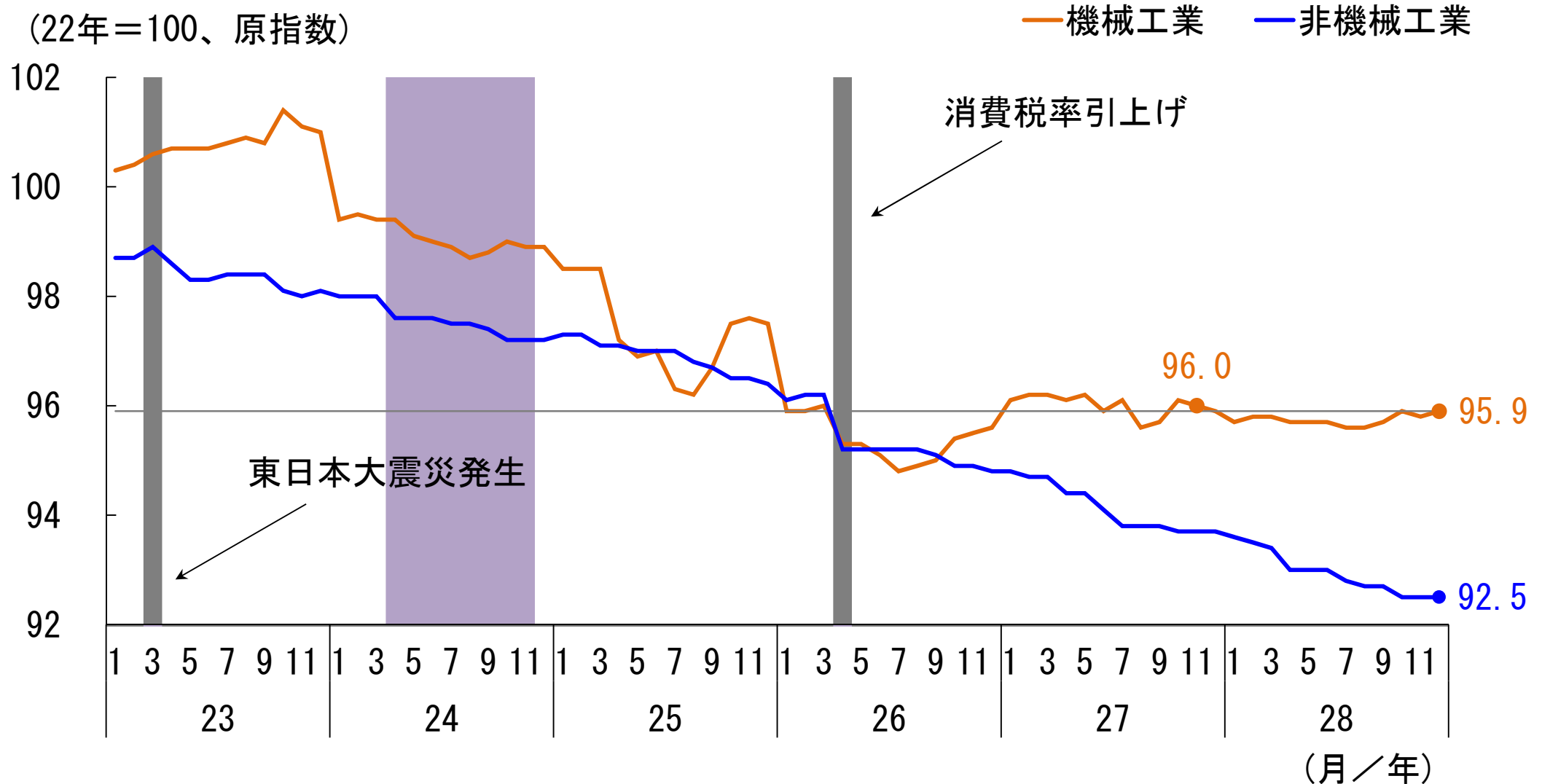
(22年=100、原指数)



(注) 1. 製造工業生産能力指数とは、月々の製造工業の生産能力を基準年(現在は平成22年)の12か月平均=100として指数化したもの。
2. 水色のシャドー部分は景気後退局面。

機械工業と非機械工業の生産能力指数の動向

- 平成28年12月の機械工業の生産能力指数は95.9(前月比0.1%)と2か月ぶりの上昇。
平成27年11月の96.0以来の指数水準。
- 非機械工業の生産能力指数は92.5(前月比0.0%)と横ばい。

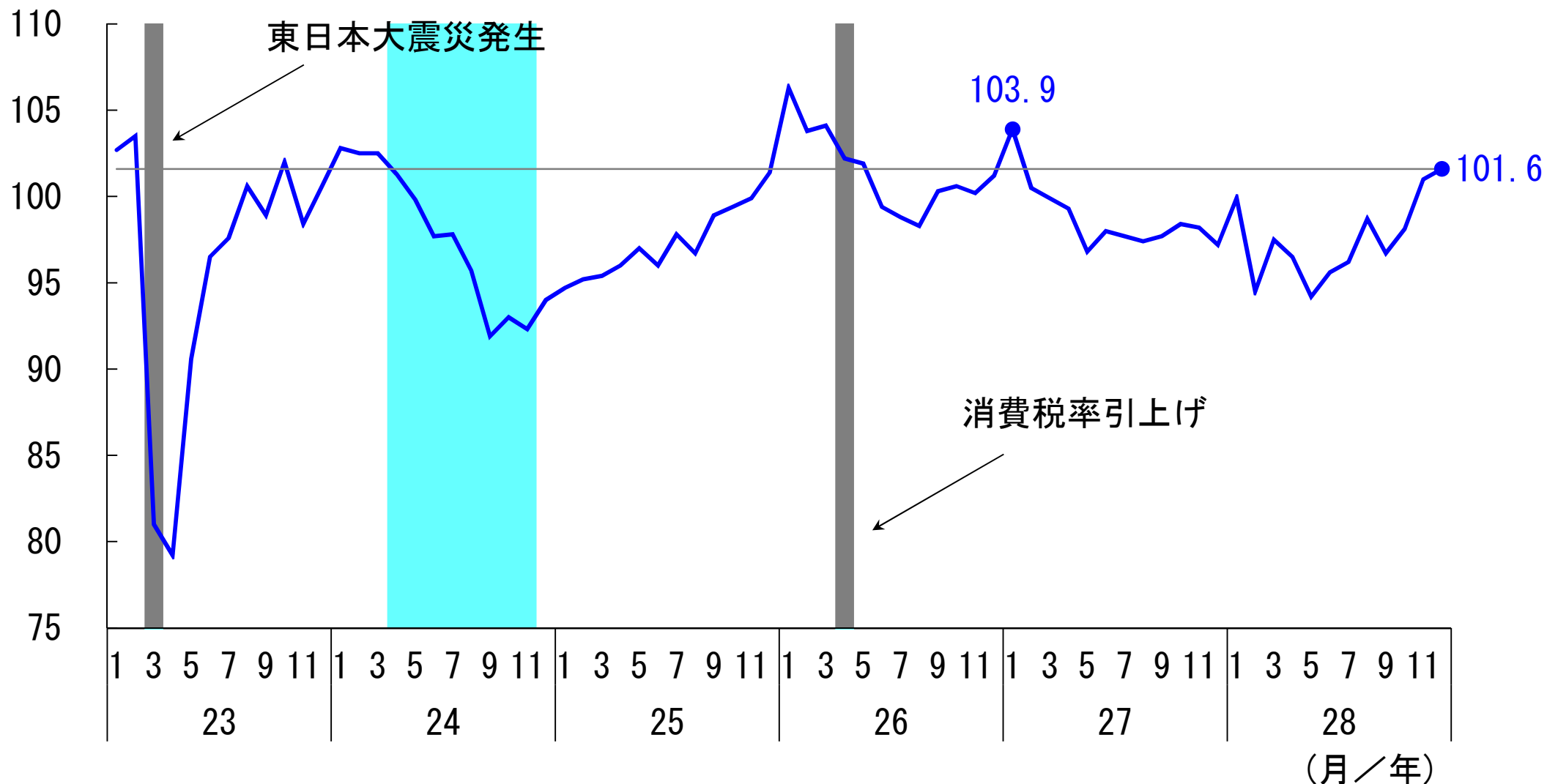


(注) 紫色のシャド一部分は景気後退局面

製造工業稼働率指数の動向

- ・平成28年12月の製造工業稼働率指数は101.6(前月比0.6%)と3か月連続の上昇。
- ・平成27年1月の103.9以来の指数水準。

(22年=100、季節調整済)



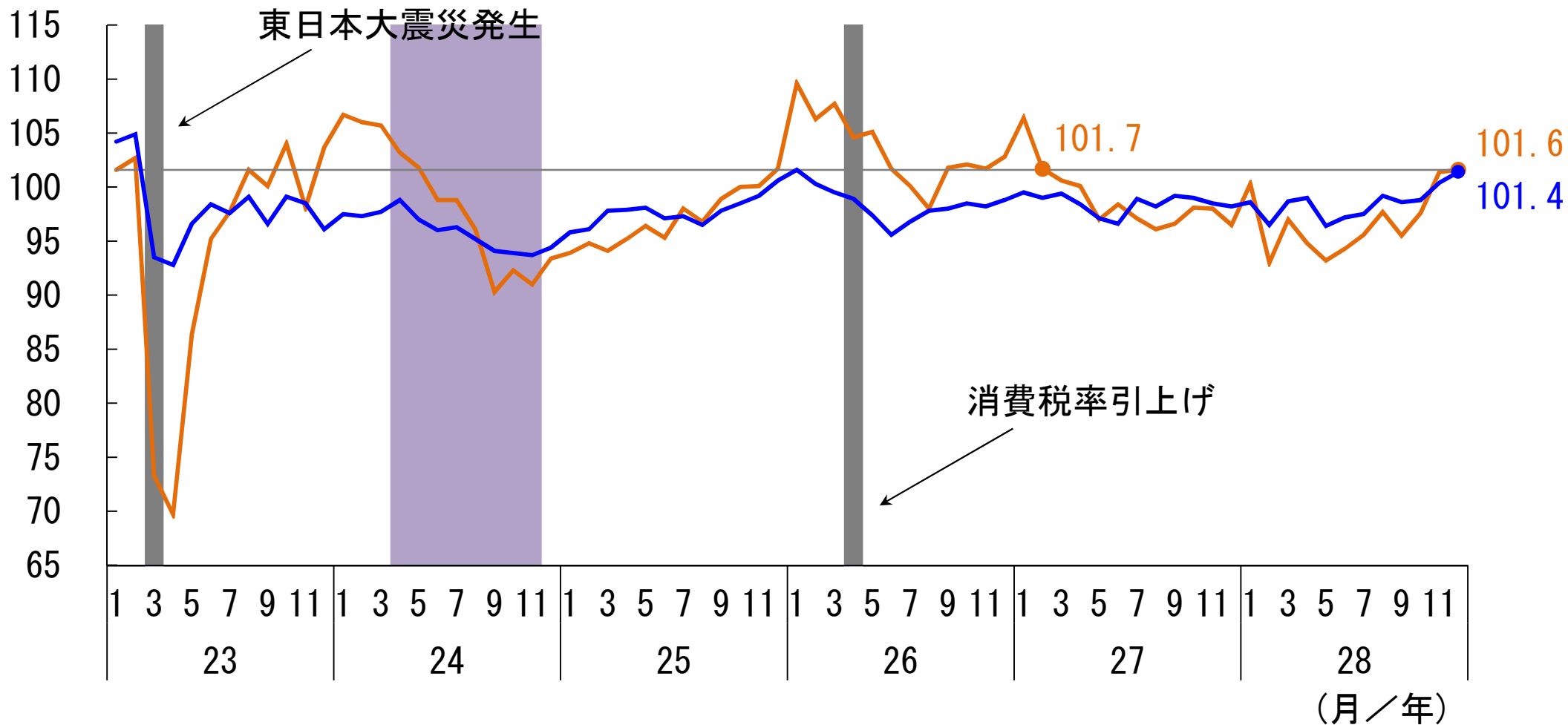
(注) 水色のシャド一部分は景気後退局面

機械工業と非機械工業の稼働率指数の動向

- 平成28年12月の機械工業の稼働率指数は101.6(前月比0.2%)と3か月連続の上昇。
平成27年2月の101.7以来の指数水準。
- 非機械工業の稼働率指数は101.4(前月比1.0%)と3か月連続の上昇。

(22年=100、季節調整済)

— 機械工業 — 非機械工業

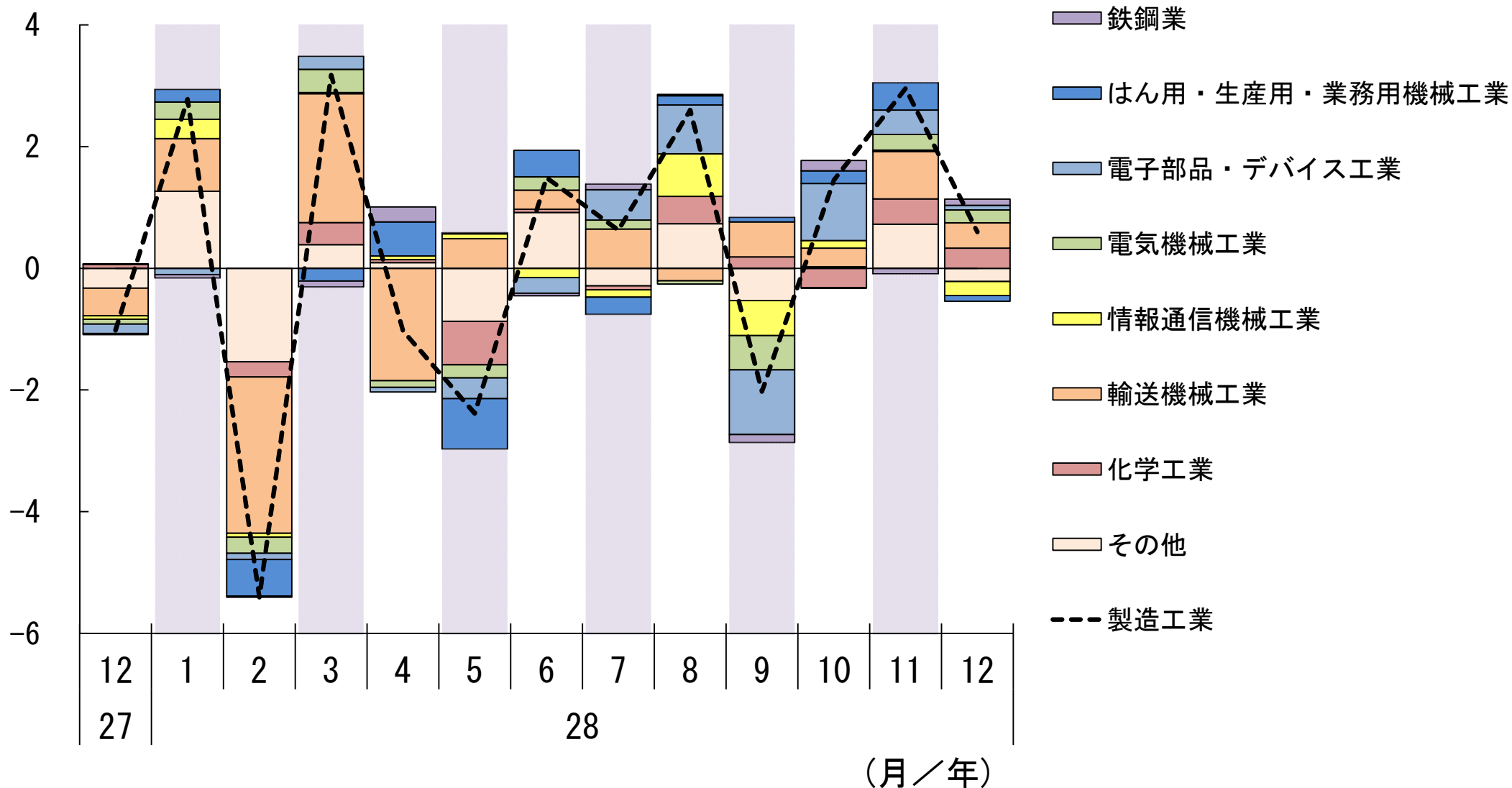


(注) 紫色のシャド一部分は景気後退局面

製造工業稼働率指数前月比 業種別の影響度合い

- 平成28年12月の製造工業稼働率指数は、情報通信機械工業などが低下したものの、輸送機械工業などが上昇したため、前月比0.6%の上昇。

(季節調整済、前月比、%、%ポイント)



平成28年10-12月期の鉱工業指数(確報)各指数の状況

生産・出荷・在庫・在庫率指数

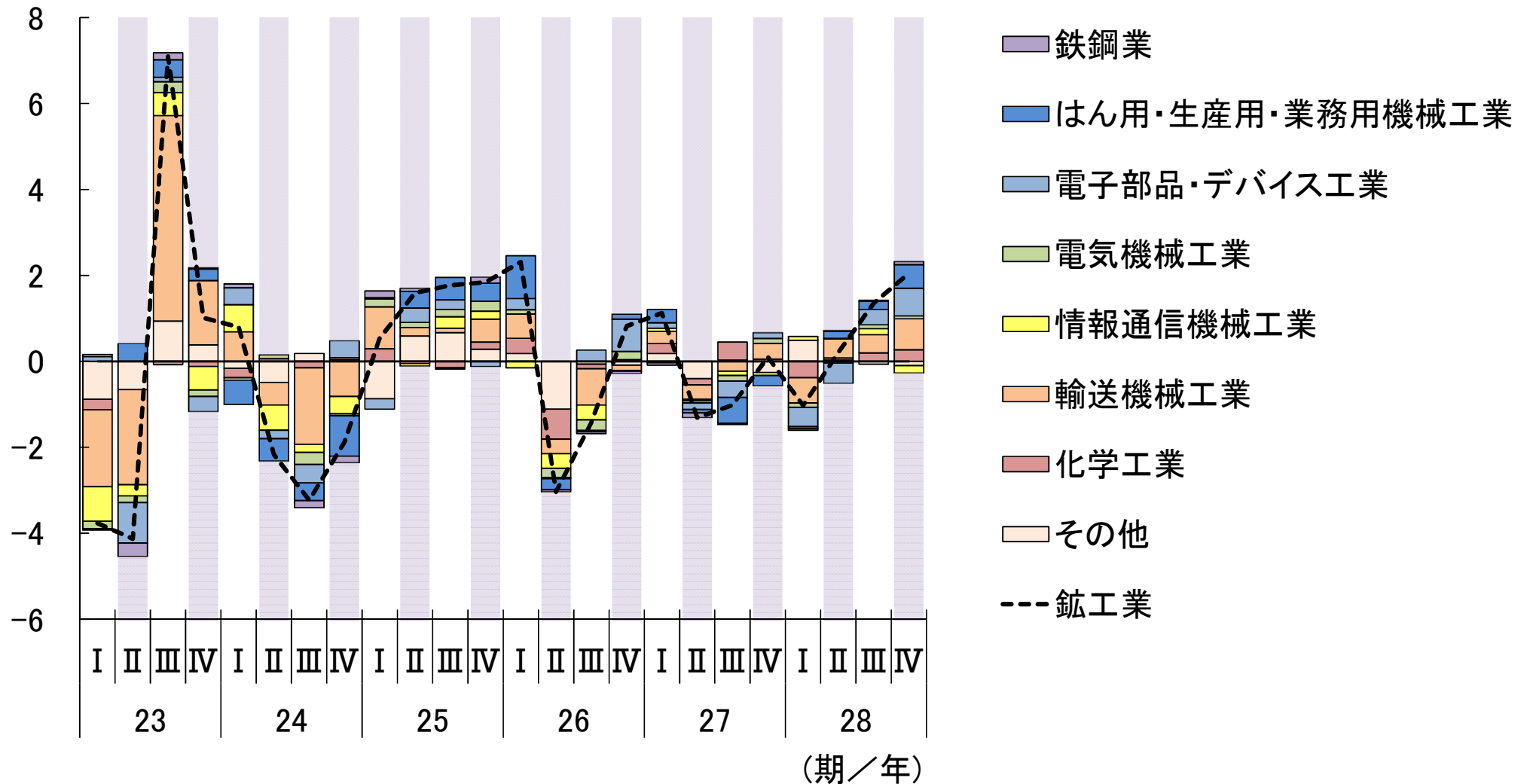
四半期	生産	出荷	在庫	在庫率
季調済指数	99.6	98.8	107.5	110.5
前期比	2.0%	3.3%	-3.1%	-4.2%
指数水準	H26 I 101.9以来 I H20 I 116.8 II H20 II 114.8 III H20 III 110.5	H26 I 101.7以来 I H20 I 118.2 II H20 II 115.0 III H20 III 109.4	H26 I 106.8以来 ①H23 I 97.7 ②H21IV, H22III 99.1 ③H22 I 99.6	H26 II 108.7以来 ①H20 I 96.8 ②H22III 97.9 ③H20 II 98.1
前期比の動き	3期連続+ (H28 II ~ 当期)	3期連続+ (H28 II ~ 当期)	3期連続- (H28 II ~ 当期)	2期連続- (H28 III ~ 当期)
前期比幅	H26 I 2.3%以来 I H21IV, H23III 7.1% II H21 III 6.1% III H21 II 5.3%	H25 I 3.3%以来 (超)H23 III 9.0%以来 I H23 III 9.0% II H21IV 7.7% III H21 III 6.3%	H23 I -4.2%以来 ①H21 I -7.2% ②H21 II -5.9% ③H23 I -4.2%	H25IV -4.4%以来 ①H21 II -12.1% ②H21 III -11.7% ③H21IV -8.4%
前年同期比(原指数)	2.1%	1.7%	-4.6%	-3.9%
前年同期比の動き	2期連続+ (H28 III ~ 当期)	10期ぶり+ (H26 II 以来)	2期連続- (H28 III ~ 当期)	11期ぶり- (H26 I 以来)
前年同期比幅	H26 II 2.7%以来 I H22 I 24.8% II H22 II 19.7% III H22 III 14.6%	H26 I 7.4%以来 I H22 I 24.8% II H22 II 20.6% III H22 III 13.8%	H22 I -10.5%以来 ①H21IV -17.6% ②H21 III -12.4% ③H22 I -10.5%	H26 I -9.6%以来 ①H22 I -33.2% ②H22 II -25.4% ③H22 III -16.1%

(注) I ~ IIIは22年基準における最大値から上位3位まで、①~③は最小値から下位3位までの数値

鋁工業生産指数前期比 業種別の影響度合い

- 平成28年10-12月期の生産指数は、情報通信機械工業が低下したものの、輸送機械工業などが上昇したため、前期比2.0%の上昇。

(季節調整済、前期比、%、%ポイント)



平成28年10-12月期の製造工業稼働率・生産能力指数の状況

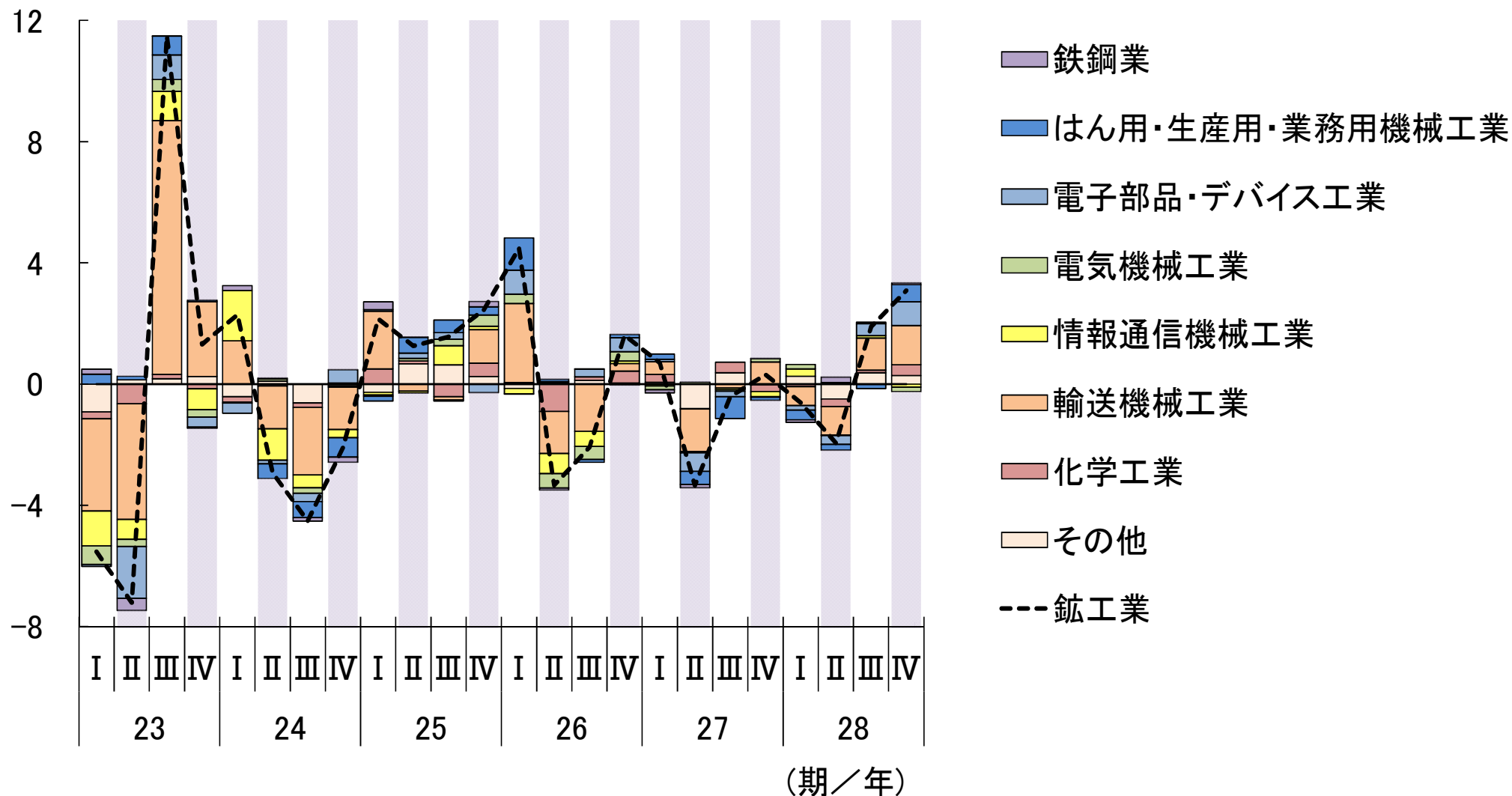
四半期	稼働率			能力		
		機械工業	非機械工業		機械工業	非機械工業
季調済指数	100.2	100.2	100.2	94.5 (原指数)	95.9 (原指数)	92.5 (原指数)
前期比	3.1%	4.0%	1.8%	0.0%	0.2%	-0.2%
指数水準	H27 I 101.4以来 I H20 I 119.0 II H20 II 116.2 III H20 III 111.4	H27 I 102.9以来 I H20 I 124.9 II H20 II 120.9 III H20 III 115.0	H26 I 100.5以来 I H20 I 110.6 II H20 II 109.0 III H20 III 105.6	—	H27IV 95.9以来 (超)H27 I 96.2以来 I H20IV 101.5 II H20III, H23IV 101.0 III H23 III 100.8	22年基準最低水準 ①H28IV 92.5 ②H28 III 92.7 ③H28 II 93.0
前期比の動き	2期連続+ (H28 III ~ 当期)	2期連続+ (H28 III ~ 当期)	2期連続+ (H28 III ~ 当期)	—	4期ぶり+ (H27IV 以来)	21期連続- (H23IV ~ 当期)
前期比幅	H26 I 4.5%以来 I H23 III 11.5% II H21 II 10.9% III H21 III 8.4%	H26 I 7.3%以来 I H23 III 19.1% II H21 II 12.6% III H21 IV 10.0%	H25IV 2.3%以来 I H21 II 8.4% II H21 III 6.7% III H21 IV 5.4%	—	H27IV 0.2%以来 (超)H27 I 0.6%以来 I H21 IV 1.1% II H25IV 0.8% III H26IV, H27 I 0.6%	H28 III -0.3%以来 ①H26 II -1.0% ②H22 III -0.7% ③H22 I, H23 II, H27 II -0.60%
前年同期比(原指数)	1.7%	2.0%	1.5%	-0.5%	0.0%	-1.3%
前年同期比の動き	8期ぶり+ (H26IV 以来)	8期ぶり+ (H26IV 以来)	2期ぶり+ (H28 II 以来)	6期連続- (H27 III ~ 当期)	—	33期連続- (H20IV ~ 当期)
前年同期比幅	H26 II 5.2%以来 I H22 I 37.0% II H22 II 24.1% III H22 III 15.3%	H26 II 9.1%以来 I H22 I 45.5% II H22 II 29.8% III H24 II 20.3%	H26 I 4.6%以来 I H22 I 25.9% II H22 II 16.5% III H22 III 9.2%	H28 II -0.6%以来 ①H26 II -2.0% ②H21 III, H26IV -1.9% ③H21 II, H26 I -1.8%	—	H28 I -1.4%以来 ①H22IV -2.1% ②H22 III, H23 II -2.0% ③H26 II -1.9%

(注) I ~ IIIは22年基準における最大値から3位まで、①~③は最小値から3位までの数値

製造工業稼働率指数前期比 業種別の影響度合い

- 平成28年10-12月期の稼働率指数は、電気機械工業などが低下したものの、輸送機械工業などが上昇したため、前期比3.1%の上昇。

(季節調整済、前期比、%、%ポイント)



平成28年の鋳工業指数(確報)各指数の状況

生産・出荷・在庫・在庫率指数

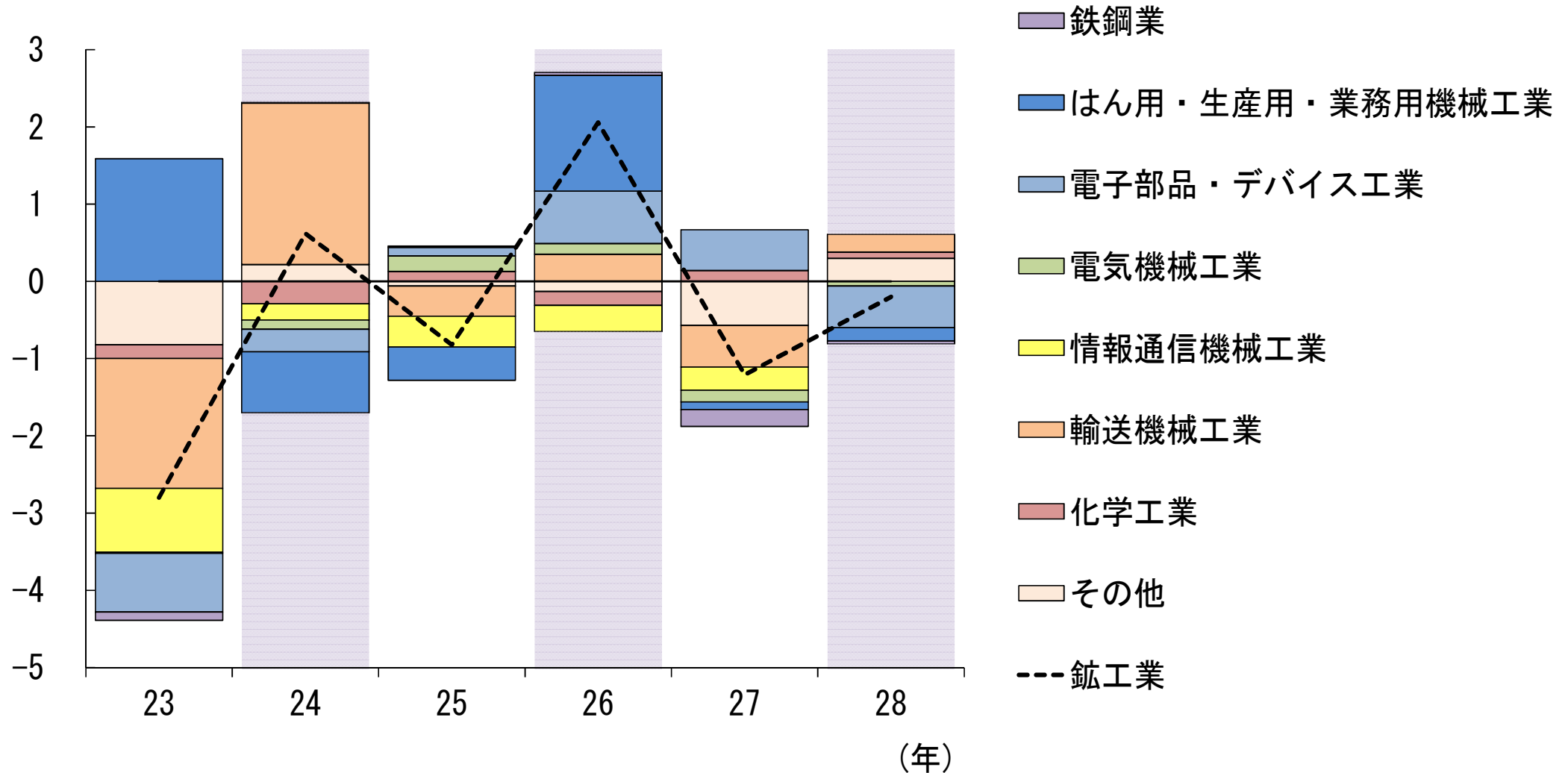
年次	生産	出荷	在庫	在庫率
原指数	97.6	96.1	107.1	114.6
前年比	-0.2%	-0.8%	-4.6%	0.4%
指数水準	H25 97.0以来 ①H21 86.5 ②H25 97.0 ③H23 97.2	H21 86.6以来 ①H21 86.6 ②H28 96.1 ③H23 96.3	H25 105.7以来 ①H21 100.5 ②H22 102.9 ③H23 105.0	H21 127.2以来 ⅠH21 127.2 ⅡH28 114.6 ⅢH27 114.2
前年比の動き	2年連続- (H27～当年)	2年連続- (H27～当年)	3年ぶり- (H25以来)	3年連続+ (H26～当年)
前年比幅	H27 -1.2%以来 ①H21 -21.9% ②H23 -2.8% ③H27 -1.2%	H27 -1.3%以来 ①H21 -21.7% ②H23 -3.7% ③H27 -1.3%	H21 -17.6%以来 ①H21 -17.6% ②H28 -4.6% ③H25 -4.3%	H27 4.0%以来 ⅠH21 20.3% ⅡH23 8.1% ⅢH24 4.7%

(注) Ⅰ～Ⅲは22年基準における最大値から上位3位まで、①～③は最小値から下位3位までの数値

鋁工業生産指数前年比 業種別の影響度合い

- 平成28年の生産指数は、輸送機械工業などが上昇したものの、電子部品・デバイス工業などが低下したため、前年比-0.2%の低下。

(原指数、前年比、%、%ポイント)



平成28年の製造工業稼働率指数・生産能力指数の状況

年次	稼働率		能力			
	機械工業	非機械工業	機械工業	非機械工業		
原指数	97.6	96.9	98.8	94.5	95.9	92.5
前年比	- 1.1%	- 2.0%	0.3%	- 0.5%	0.0%	- 1.3%
指数水準	H25 97.3以来 ①H21 83.6 ②H23 95.7 ③H25 97.3	H23 94.2以来 ①H21 80.6 ②H23 94.2 ③H28 96.9	H22 100.0以来 Ⅰ H20 105.6 Ⅱ H22 100.0 Ⅲ H28 98.8	22年基準最低水準 ①H28 94.5 ②H27 95.0 ③H26 95.3	—	22年基準最低水準 ①H28 92.5 ②H27 93.7 ③H26 94.8
前年比の動き	2年連続－ (H27～当年)	2年連続－ (H27～当年)	4年連続＋ (H25～当年)	8年連続－ (H21～当年)	—	19年連続－ (H10～当年)
前年比幅	H27 -2.6%以来 ①H21 -25.0% ②H23 -4.3% ③H27 -2.6%	H27 -4.4%以来 ①H21 -30.2% ②H23 -5.8% ③H27 -4.4%	H26 0.8%以来 Ⅰ H22 13.6% Ⅱ H25 1.6% Ⅲ H26 0.8%	H26 -1.9%以来 ①H26 -1.9% ②H21, H24 -1.6% ③H25 -1.1%	—	H26 -1.7%以来 ①H22 -2.1% ②H26 -1.7% ③H21 -1.4%

(注) Ⅰ～Ⅲは22年基準における最大値から3位まで、①～③は最小値から3位までの数値

製造工業稼働率指数前年比 業種別の影響度合い

- 平成28年の稼働率指数は、電気機械工業などが上昇したものの、はん用・生産用・業務用機械工業などが低下したため、前年比-1.1%の低下。

(原指数、前年比、%、%ポイント)

